機械設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】

1 工事場所 京都府船井郡京丹波町和田地内 2 建物概要

| ∠)生 | 171111113 | _ | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------------|---|---|---|---|------|-------------------|----------|-------|------|---|---|
| 建 | 物 | 名 | 構 | 造 | 階 | 数 | 延床面積 | (m ²) | 消防法令別表第- | -耐震安全 | 性の分類 | 備 | 考 |
| 世帯月 | 用医師 | F住宅 | 木 | 造 | | 1 | 99. | 13 | | O甲 | ΦZ | | |
| 単身 | 用医師 | F住宅 | 木 | 造 | | 1 | 103. | 67 | | O甲 | ●Z | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| 3 工事科目 | | | | ●印をついたも | のを適用 | し、各一 | 式とする。 |
|--------|------|--------|-----|---------|------|------|-------|
| 工事科目 | 建物名称 | 世帯用医師住 | ŧ i | 単身用医師住宅 | | | 屋外 |
| 空気調和設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 換気設備 | | • | | • | | | 0 |
| 排煙設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 自動制御設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 衛生器具設備 | | • | | • | | | 0 |
| 給水設備 | | • | | • | | | • |
| 排水設備 | | • | | • | | | • |
| 給湯設備 | | • | | • | | | 0 |
| 消火設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| ガス設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 厨房機器設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 浄化槽設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 医療ガス設備 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 撤去工事 | | 0 | | 0 | | | 0 |
| | | 0 | | 0 | | | 0 |

【特記事項】

- 1 一般事項
- 1)特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成二十八年版」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)平成二十八年版(以下「標準図」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)平成二十八年版」による。
- 二十八年版」による。
 2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

| | 2) 工事種目に電気設備工 特記事項 | 事及び建築工事を含む場合、 | その仕様は当該図面及び標準仕様書による。 |
|--------------|----------------------------|---|--|
| _ | | ●印をついたものを本工事に | 適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。 |
| 章 | 項 目 | 特 | 記事項 |
| | ※設備機材等 | | 材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとす |
| | | る。 | |
| | | | ものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 |
| | | また、〔グ〕印は「京都府 | 存庁グリーン調達方針↑ 」(以下、「グリーン調達」という。) |
| | | の特定調達品目を示す。 | |
| | | | 照 〈http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html〉 |
| | ※機材の承諾 | | 原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監 |
| _ | | 15 . 104 1.11 40 1.11 | 図様式集(最新版)によるものとする。 |
| | ※機材の品質 | | 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設 |
| | ・性能証明 | | 」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章 |
| | | 1 | 品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略すること |
| | | ができる。 | 为人。7.41.6回 动脉光体中性小脉 / |
| | ※現場代理人 | | 定される製作図・試験成績書等は除く。 + 注句初約書第10条に其づく現場と開しは、主任共作者立は監 |
| | 次現場代理人 | | よ、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監 の声接触もの短常的な原用関係のまる者を選ばまる。 |
| | ※電気保安技術者 | 理技術有と同様、受注有と0 ※適用する ○適用し | の直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。 |
| | 〇技能士 (一級) | ※配管(配管工事) | 2/4 r, |
| | OIX HE T (MX) | | び取付け) 〇冷凍空気調和機器施工 |
| | ※工事用電力・水その他 | | ・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。 |
| | 水工子//TE/3 水 CO/E | (中土子におり、611年7月1日7月 | week of the work of the control of t |
| | ※官公署への手続き | 官公署等への手続きは速やが | かに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 |
| | ●工事用仮設物 | 構内につくることが ※でき | |
| 般 | ●足場・作業構台 | 別契約の関係者・受注者が足 | 定置したものは、無償で使用できる。 |
| <i>7</i> 100 | ※監督職員事務所 | ※設置しない Oi | 設置する (〇本工事 〇別途) |
| | ※監督職員事務所 | 下記の図書を監督職員事務所 | 近に備え付ける。 |
| | に備え付ける図書 | ·公共建築工事標準仕様 | 書(機械設備工事編)・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) |
| | | •機械設備工事監理指針 | ・機械設備工事施工チェックシート |
| | | • 建築設備耐震設計施工技 | 告針 ・工事写真の撮り方(最新版)−建築設備編− |
| | | ·公共建築改修工事標準f | 土様書(機械設備工事編) |
| | ※建設副産物の処理 | 〇建設副産物の処理 | 〇引き渡しを要するもの 【 |
| | 及び建設発生土の処理 | 右記のほか、 | 〇再生資源利用を図るもの【 |
| | 75 M - + 45 - 7 / 1 48 - 5 | 現場説明書による。 | 〇特別管理産業廃棄物 |
| | 建築工事特記仕様書 | <u>○ 24 = 1. 26 /4 - 1.</u> | ○ P C B 使用機器 ○ 臭化リチウム ○ |
| | による | 〇建設発生土の処理 | ○構外指定地に搬出処理 ※(一財)城陽山砂利採取地整備公社 |
| | | 右記のほか、 現場説明書による。 | □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ |
| | | 「現場就明音による。 | ○構外搬出適切処理 |
| 事 | | ○再生資源利用促進 | 建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用 |
| 7 | | 計画書等の作成・提出 | 促進計画書(建設副産物対策近畿地方連絡協議会)について、施 |
| | | nde for // Leu | 工計画書に含めて提出する。 |
| | | | また、実績については再生資源利用促進施書として提出する。 |
| | | 1)「建設発生土処理計画書 | :」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 |
| | | | 正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物 |
| | | 処理報告書」により監督 | |
| | | | ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| | | (ただし、運搬及び処分 | 分費は ※本工事 〇別途 とする。)。 |
| | | | |
| | | 〇アスベストの処理等 | |
| | | 1) 次の資機材のアスベス | ト含有の有無は以下による。 |
| | | 〇アスベスト成形板 | 〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:) |
| | | Oダクトパッキン | 〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:) |
| τÆ | | 〇配管エルボ部保温材 | 〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:) |
| 項 | | 〇煙道の断熱材 | 〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:) |
| | | 2) アスベスト含有調査は | 以下のとおりとする。 |
| | | (ただし、調査費用は | ※本工事 〇別途 とする。。) |
| | | *JIS A 1481 | 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 |
| | | | 率の分析方法」(平成18年8月21日基発第0821002号及び |
| | | | 001号)による。(石綿含有率5質量%超の場合のみ) |
| | | | は関係法令に従い適切に処理する。 |
| | | 調査の結里アスベスト: | 含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。 |

調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。

| 章 | 項目 | | 椿 Allu 코 똰크 | 記事 | 項 | | |
|---|--|--|--|---|--|--|--|
| | ※工事関係書類 | | | 書式集◆一覧表により提出。 ://www.pref.kyoto. | | lex.html> | |
| | ※履行報告 | 月報 ※2部 〇3音 | | たに締め、翌月の5日まで | | | |
| _ | ※工事写真 | 1)国土交诵省大臣官 | 了 房官庁堂組 | 善部監修「工事写真の撮り方 | 5 (最新版) 建築計 | 投備編 川による | <u></u> |
| | | 2) 工事完成時、整理 | 凰の上、1音 | 那提出する。 | 。 、9A7711M/ 注末D | ~ IL EER 1141 € CO (| - 0 |
| | 火ウ라回事 | 3) デジタルカメラで | ∑撮影可とす | ける。 内 容 | | 1 4 4 4 | ₩ ₽ 3 |
| | ※完成図書 | 名 称 | 金文字製 | | | 大きさ A4版 | 部 3 |
| 般 | 建築工事特記仕様書 | 〇完成図 | 〇背貼り | | ファイル止め | | 2 } |
| | による | 〇施工図 〇機器完成図等 | 〇背貼り 機器製作[| | ファイル止め ファイル止め | A 4 版 | 2 1 |
| | | 0 级品况及四寸 | | 四 案内書(機器取説書を含む | | 7 - 7/12 | _ ' |
| | | ○ ○ | | 試験成績書・保証書・施工 | の試験成績書 | | ļ |
| 事 | | 〇諸官庁提出書類 〇原図 | 副 本 | | | | 1 1 |
| | | 〇完成写真 | アルバム | | | | 2 1 |
| | ※著作権等 | 電子納品については、 当該建物において取 | | §による。 拖工図等の著作権に係わる | 当該建物に限る使 | <u>│</u> 用権は、発汗 | <u> </u> 者に |
| | | 譲するものとする。 | | | | 7.1 (2.10.1) | |
| 項 | ※付属品及び予備品 ※総合調整 | 標準仕様書によるほか 〇風量調整(測定共) | | こよる。 | 〇室内外空気 | の温湿度測5 | ŧ |
| | (測定結果は報告書にて | | | | OEMMEX | 07.温湿及照入 | E |
| | 提出) | 〇飲料水の水質の測定 | | 〇雑用水の水質の測定 | T W-7-7-7-1 | 7. 4. (xx. 711 n/n = C 5 | * W ^ |
| | 〇耐震施工 | | | 通省国土技術政策総合研究 計2014年版」による。 | 肝・独立行政法人 | 建架饼笂炘旨 | 益1多の |
| | | 2) 下記の設計用水平 | ヹ 震度(K ⊦ | H)により、機器製作固定 | | | |
| | | 設置場 | 所 | 〇特定の施設 | | 般の施設 一般機 | 哭 |
| | | 上層階、屋上及 | | 2.0(2.0) 1.5(2. | 0) 1 .5 (2 .0 |) 1.0 (1 | .5) |
| | | 中 間 1階及び地 | | 1 .5 (1 .5) 1 .0 (1 . 1 .0 (1 .0) 0 .6 (1 . | | - | |
| | | | 下 陌 | | | | .0) |
| 共 | | 設置場 | 所 | O特定の施設 水 槽 | | 般の施設 槽 | |
| | | 上層階、屋上及 | | 2 . 0 | | 1.5 | |
| | | 中 間 1階及び地 | 下階 | 1 . 5 1 . 5 | | 1.0 | |
| | | | | D建物は特定の施設を、乙 | | | + z |
| | | 一注 L 民唯の中学に | | | | | |
| | | 注5 重要機器(水槽 | 曹類)は、下 | 以下の場合は最上階、7~ F記に示すものとする。(| 水槽類にはオイル | タンク等を含 |] |
| | | 注 5 重要機器(水槽 【 注 6 「建築設備耐盪 | 曹類) は、T 震設計・施コ | | 水槽類にはオイル による形鋼振れ止 | タンク等を含 |] |
| | ●一般用弁 | 注5 重要機器(水槽 【 注6 「建築設備耐震 SA種とする。 標準仕様書第2編2 | 曹類)は、T 震設計・施コ ただし、取 2. 2. 1 | 下記に示すものとする。(C指針(2014年版)」 付け金物については標準I (1)~(12)によるほ | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止図に準ずる。 か、下記による。 | タンク等を含め支持を行う |] |
| | ●一般用弁 | 注5 重要機器(水槽 【 注6 「建築設備耐 S A種とする。 標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び図 | 曹類)は、T 慶設計・施コ ただし、取 2. 2. 1 図面特記部の | 下記に示すものとする。(C指針(2014年版)」 付け金物については標準 | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止図に準ずる。 か、下記による。 他は 5 K以上とす | タンク等を含め支持を行う |] |
| 通 | ●一般用弁○フレキブルジョイント | 注5 重要機器(水槽 【 注6 「建築設備耐 SA種とする。 標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び図 2)給水・給湯用の青 機器廻りに取付ける | 曹類)は、T www.max to ただし、取ただし、取 2.2.1 四面特記部の 計銅製弁は、 シフレキシフ | 下記に示すものとする。(C指針(2014年版)」 付け金物については標準 (1)~(12)によるほ D耐圧は10K以上、その | 水槽類にはオイル による形鋼振れ止 図に準ずる。 か、下記による。 他は 5 K以上とす。 | タンク等を含め支持を行う |) 5 場合(|
| 通 | | 注5 重要機器(水槽 【 注6 「建築設備耐 SA種とする。 標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び図 2)給水・給湯用の青 | 曹類)は、T 震設計・施コ ただし、取 2. 2. 1 図面特製弁は、 うフレキシフ | 下記に示すものとする。(に指針(2014年版)」 は付け金物については標準を (1)~(12)によるほり耐圧は10K以上、その 給水用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に | 水槽類にはオイル による形鋼振れ止 図に準ずる。 か、下記による。 他は 5 K以上とす。 | タンク等を含め支持を行う |) 5 場合(|
| 通 | 〇フレキブルジョイント 〇伸縮管継手 (鋼管用) | 注5 重要機器(水槽 【 注6 「建築設備耐 S A種とする。 標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける ては合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手は下 〇ベローズ形 | 曹類)は、T 震設計・施工 ただし、取 2 2 1 図面特記部の 高銅製弁は、 5 フレキシラ 6 。 | 下記に示すものとする。(に指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほ の耐圧は10K以上、その 給水用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に | 水槽類にはオイル による形鋼振れ止 図に準ずる。 か、下記による。 他は 5 K以上とす。 | タンク等を含め支持を行う |) 5 場合(|
| 通 | Oフレキブルジョイント ○伸縮管継手 | 注5 重要機器(水槽 【 注6 「建築設備耐 SA種とする。 標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手は下 | 曹類)は、T 震設計・施工 ただし、取 2 2 1 図面特記部の 高銅製弁は、 5 フレキシラ 6 。 | 下記に示すものとする。(に指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほ の耐圧は10K以上、その 給水用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に | 水槽類にはオイル による形鋼振れ止 図に準ずる。 か、下記による。 他は 5 K以上とす。 | タンク等を含め支持を行う |) 5 場合(|
| 通 | 〇フレキブルジョイント 〇伸縮管継手 (鋼管用) 〇溶接接合 | 注5 重要機器 (水槽 【 注6 「建築設備耐 S A 種書 とする。 標準仕様書部及の 1) | 曹類)は、T 震設計・施取 ただに2. 1 四面特針は、3 回面製料キシラ 50 ここに3 ここに3 は、対線透過検査 | 下記に示すものとする。(正指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほ の耐圧は10K以上、その 給水用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に 一ブ形 | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止図に準ずる。か、下記による。他は 5 K以上とす。対してはベローズ | タンク等を含め支持を行う る。 形、FRPI |) 5 場合(|
| 通 | ○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)○溶接接合●地中埋設標及び | 注5 重要機器(水槽 【注6 「建築設備耐 S A 種書第2編2 1) 水水・給源用のは 2) 給水・給源用のは 機器廻りゴム製とする では合成がで でで でで でで でが でが でが でが でが でが でが でが でが で | 曹類)は、T 震設計・施取 ただに2.1の 国面特針キシー 100 100 100 100 100 100 100 10 | F記に示すものとする。(E指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほ の耐圧は10K以上、その 給水用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に ーブ形 「 | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止図に準ずる。か、下記による。かは5 K以上とす。対してはベローズ 磁粉深傷検査) | タンク等を含め支持を行う る。 形、FRPI |) 5 場合(|
| 通 | 〇フレキブルジョイント 〇伸縮管継手 (鋼管用) 〇溶接接合 | 注5 重要機器(水槽 【注6 「建種とは の の の の の の の の の の の の の の の の の の の | 曹類 計し、 1 で | 下記に示すものとする。(正指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほ の耐圧は10K以上、その 給水用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に 一ブ形 | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止図に準ずる。か、下記による。かしては5 K以上とする。付は5 Cはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対してはベローズを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を | タンク等を含め支持を行う る。 形、FRP(〇不要) 〇不要) |) 5 場合(|
| 通 | ○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)○溶接接合●地中埋設標及び | 注5 重機器 (水槽 【 注6 「 集極 | 情類 たこの は は ・ し ・ は ・ し ・ に ○ は ・ し ・ に ○ は ・ し ・ に ○ は ・ し ・ に ○ は ・ し ・ し ・ に ○ は ・ し ・ し ・ に ○ は ・ し ・ し ・ は か の 、 こ の ・ 一 は 標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標 | F記に示すものとする。(E指針(2014年版)」 付け金物については標準度(1)~(12)によるほの耐圧は10K以上、その給水用青銅弁を使用するブルジョイントは、鋼板に ブルジョイントは、鋼板に ブルジョイントは、鋼板に ブ形 「※要 ○不要) 埋設設表(※要 ○不要) 埋設表表表表(※要 ○不要) 埋設表表表表(※要 ○不要) 埋設表表表表表 | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止型に準ずる。 か、ではまるではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない | タンク等を含め支持を行う る。 形、FRPI の不不要) の不不要) の不不要) |) 5 場合(|
| 通 | ○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)○溶接接合●地中埋設標及び | 注5 重機器 (水槽 【注5 重要機器 (水槽 【注6 「全種性」 「全性」 「全種性」 「全性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全性」 「全種 | 曹類 たこの はい ・ しい ここ ・ はい ・ しい 記弁キーよス 過設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設 ・ しい ・ しい ・ しい | F記に示すものとする。(E指針(2014年版)」 付け金物については標準度(1)~(12)によるほの耐圧は10K以上、その給水用青銅弁を使用するブルジョイントは、鋼板に ブルジョイントは、鋼板に ブ形 「 | 水槽類にはオイル による形鋼振れ型に準ずる。 か、よるに準ず記に以上では か、ちりでは が、ちりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、なりでは が、ないでは が、ないでは が、ないでは でしている。 でしてい。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしてい。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしてい。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしてい。 でしている。 とってい。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でし。 でして。 でして。 でして。 でして。 でして。 でして。 でして。 | タンク等を含め支持を行う。 あ。 形、FRP() 不不不不要要) Oへ不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不要) |) 5 場合(|
| 通 | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注5 重機器 (水槽 【注5 重要機器 (水槽 【注6 「全種性」 「全性」 「全性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全 | 情類 たい 1 部は、 1 部は、 2 特別 1 部は、 2 特別 1 部は、 2 特別 2 に 3 透埋埋埋埋埋帽イ 過設設設設設設は 2 の 4 検標標標標標 1 2 の 4 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 | 下記に示すものとする。(E指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほの耐圧は10K以上、その が、用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に 一ブ形 「※要 〇不要) 埋塊設設設設で (※要 〇不要) 埋塊設設設設設設設で (※要 〇不要) 埋塊設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設とで 「鋼管は、防食処置を行う | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ上型に準ずる。 か、は5 K K K K K K K K K K K K K K K K K K K | タンク等を含め支持を行う。 あ。 形、FRP() 不不不不要要) Oへ不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不不要) |) 5 場合(|
| 通 | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注5 重機器 (水槽 【注5 重要機器 (水槽 【注6 「全種性」 「全性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「全種性」 「 | 情類 たい 1 部は、 1 部は、 2 特別 1 部は、 2 特別 1 部は、 2 特別 2 に 3 透埋埋埋埋幅イ記 2 時間 2 で 3 を 4 を 4 を 5 で 5 で 5 で 6 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 | 下記に示すものとする。(E指針(2014年版)」 付け金物については標準度 (1)~(12)によるほの耐圧は10K以上、その が、用青銅弁を使用する ブルジョイントは、鋼板に 一ブ形 「※要 〇不要) 埋塊設設設設で (※要 〇不要) 埋塊設設設設設設設で (※要 〇不要) 埋塊設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設設とで 「鋼管は、防食処置を行う | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ止型に準ずる。 か、まるに準ず記に以上では、なりでは、ないではないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで | タンク等を め支持を行る。 る。 形 |) 5 場合(|
| 通 | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注5 重 機器 (水水 村 | 曹類 たい はい ・しい 記録 ・ はい ・しい 記針キーよス 過設設設設設は 二に 気 透理理理理に 「 気 過設設設設設は 二に 気 過 検標標標標標 1 に 気 に で の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 下記に示すものとする。(E 指針 (2014年版)」 (付け金物については標準度(1)~(12)によるのの | 水槽類にはオイルによる形鋼振れ上型に準ず記に以上である。か、ちがではいないではないではないではないではないではないではないではないではないではな | タンク等を め支持を行 る。 形 |) 5 場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注 5 重 機器 (水水 村 | 曹類 たい はい ・しい 記しい はい ・しい 記針キーよス 過設設設設設は 二に 気 でいまれる はい ・しい 記針キーよス 過設設設設設設は 二に 気 過 検標標標標標標 1 くる で はい かい ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 下記に示すものとする。(E 指針 (2014年版)」 I 付け金物については標準国 (1)~(12)によるの (1)~(12)以上、その (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 水槽類にはオイルによる形のではます。 (による形のでは、まるでは、なるでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない | タンク等を め支持を行 る。 形 |) 5 場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注 5 重 機 | 曹類にこの前ろろこと、は、村中中中のフェー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 下記に示すものとする。(正指針 (2014年版)」 (付け金物については標準度(1)~(12)以上、その合うでは、 10所には10所には10所には10所には10所には10所には10所には10所には | 水槽類にはオイルによるがある。 にはずるのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない | タンク等を め支持を行 る。 形 |) 5 場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注 5 重 機器 (水水 耐 る) を は | 曹 を たこの | 下記に示すものとする。(正指針 (2014年版) 上 (付け金物については標準ほ(1)~(12)以上、用力には10以上、用力には10以上、用力には10所に用する。 「耐圧は10所に用する。(「耐圧は10所に用する。(「一ブ形 | 水槽類にはオイルルはある。は、大橋類にはますでは、大きででは、大きででは、大きででは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注 5 重 機器 (水水 耐 る) を は | 曹を表た、四面銅りの記し、線中中中中(ラ下)、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 下記に示すものとする。(正指針 (2014年版)」 (付け金物については標準度(1)~(12)以上、その合うでは、 10所には10所には10所には10所には10所には10所には10所には10所には | 水槽類にはオイルルはある。は、大橋類にはますでは、大きででは、大きででは、大きででは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (| 曹をといる「おうら」では、村中中中中(ラ下)は、村民は「大大」の「おうら」では、一般に「大大」の「大大」の「大大」の「大大」の「大大」の「大大」の「大大」の「大大」 | 下記に示すものとする。(E 指針 (2014年版) 単位 (1) ~ (12) 以標準 (1) ~ (12) 以上、用板に (1) 平位 (1) 平 | 水 槽類 にはす イルル によ 準 下 5 に は が 他 。 対 に と 単 下 5 に 以 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注注 注注 注注 注注 注注 注注 注注 注注 注注 指数 性 | 曹をといて「こう」とは、対し中中中のラードでは、「本民人権にする権利」という。に、、・緑中中中中のラードで、・村田・山・山・記弁キーよス、過設設設設設は二に、気、ら、のの。別カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 下記に示すものとする。(「指針(2014年版)準値付け金物については標準のでは、 10 K 大き | 水 槽類 にはす イルル によ 準 下 5 に は が 他 。 対 に と 単 下 5 に 以 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注注注注 | 曹 髪たこ面銅りっ記 、 緑中中中中・ラ下 、 椿は「牛を樹った」 計だ2特製レーに〇 透埋埋埋埋埋棺イ記 排 か 等2る種脂レ金は ・し.記弁キ よス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属、 施、1部はシ るり 検標標標標標標!20名 | 下記に示すものとする。(「指針(2014年版標本のとするのとするのとするのとするのとするのとするのとするのとするのとするのとする | 水 情類 には まな で 要要要要で | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注注注注 | 曹 髪たこ面銅りっ記 、 緑中中中中・ラ下 、 椿は まま樹ンの角) 計だ2特製レ に〇 透埋埋埋埋埋イ記 排 か 等2る種脂レ金亜は ・し.記弁キ よス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛、 施、1部はシ るり 検標標標標標標 1.2よ 筒 の 蓋m はバ鋼製鉄、コ取 の、つ 。 | 下記に示すものとすする。(「指針(2014年は標るを 物について 1 0 に | 水 情報 | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注注注注 | 曹 龍たこ面銅りっ記 、 緑中中中中・ラ下 、 椿はばより横つのラーカ 計だ2特製レーに〇 、 綾埋埋埋埋埋棺イ記 排 か 等2る種脂レ金亜亜は ・し.記弁キ よス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛、 施、1部はシ るり 検標標標標標標 1.2よ 筒 の 蓋m はバ鋼製鉄鉄机 カロ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 下記に示すものとする。(「指針(2014年版標本のとするのとするのとするのとするのとするのとするのとするのとするのとするのとする | 水 情報 | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注注注注 | 曹 龍たこの前ろう。 は、村也也也也也で下、 に、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 下記に付ける。(2014年はよくすりでは、100年は、1 | 水 信型か他。対 磁示示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るの が は、は、は、 は | タンク等を含め あ支持を行う る。 形 | 5場合(|
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ・地中埋設標及び 埋設表示用テープ | 注注注注 | 曹 龍たこの前のうこと、 村也也也也也で下、 徳、八居は「まりばったひと類 別だ2特製レーに〇、 透埋埋埋埋埋帽イ記 排 か 等2る種脂レ金亜亜配い、 施、1部はシ るり 検標標標標標に、 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇、 施、1部はシ るり 検標標標標標に、 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇「コ取」の、こ。 | 下記に示するのとすない。(に示するのとすないでは、 にお針(2014年はは、 に付ける物につこ)以をは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に | 水 に図か他。対 磁示示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム を で で で で で で で で で で で で で で で で で で | タ 大 | 5場合() |
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 | 注注注 12 で調溶 | 曹 霞た2回銅フ。記、、緑色中中中・ラで「、「樗温槽はす装椅ンのーーび」記憶、 ・し、記弁キーよス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配、 施、1部はシ るり 検標標標標標1ンよ 筒 の 蓋m はバ銅製鉄鉄の硬ビ管〇瓦、取り の、 こ | 下記に針(2011年) (2011年) | 水 に図か他。対 磁示示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。 にた は 郷。に以 が 機ププププラウム で で で で で で で で で で で で で で で で で で で | タ 大 | 5場合() |
| | ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 | 注注注注 12 (本) | 曹 龍たこの前のらに、は、村地地地地でプラ下、「大俣は漕に下枝がつのラウな」に配室的、計だ2特製レーに〇、透埋埋埋埋埋相イ記、排い、等2る種脂レ金亜亜配の、1部はシースリー検標標標標標に、気、ら、の0。別カス属鉛鉛管〇〇配が、、施、1部はシースリー検標標標標標標に、気、ら、のの、別カス属鉛鉛管〇〇配が、、施、1部はシースリー検標標標標標標でした。一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、 | 下記に針(2011年) (2011年) | 水 に図か他。対 磁示示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。 〇 はにた配 が に は 場。 こ、 は し が が の で で で で で で で で で で で で で で で で で | タ ン 支 持 を 行 : | 5 場合 l l l l l l l l l l l l l l l l l l |
| 事 | ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 | 注注注 12 で調溶 | 曹 震た・四頭ののに、 緑色中中中・ラで、 槽温槽はす装骨ンの一・び、配室の4) 計だ2特製レ に〇 透埋埋埋埋幅イ記 排 か 等2る種脂レ金亜亜配 の9〇て0、 施、1部はシ るり 検標標標標標1ンよ 筒 の 蓋m はバ銅製鉄鉄の硬ビ管〇戸 特97.取 の、 る・ | 下記に針(2011年) | 水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダイ は 調。こは し | タ め る 形 | 5 場合 し |
| | ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (御縮管網) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ○吹出口及び吸込口 | 注注注 12 で鋼 溶 | 曹 震た・四重のには、 は、 対しししもプジーで、 信品槽はす装樹ンの一一び、 配室の 2mg) 計だ2特製レーに〇 透埋埋埋埋埋幅イ記 排 か 等2る種脂レ金亜亜配 の6〇て0鉛は、 施、1部はシ るり 検標標標標標12レよ 筒 の 蓋m はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇戸科9板、 取りの の | 下記に針(物(1 1 青イ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。 相 は 郷。に以 に | タ め る 形 | う場合 に う場合 に が が が に に に に に に に に に に に に に |
| 事 | ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (御縮管網) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ○吹出口及び吸込口 | 注注注 12 で鋼 溶 | 曹 震た・四頭ののに、、緑色色色のでで、「「「大く」では、大く」で、「大く」では、大く」では、 緑色色の色のでは、 緑色色の色ので、一切、 一切、 一切、 一切、 一切、 一切、 一切、 一切、 一切、 一切、 | 下記に針(2011年) | 水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。場類 る準下5 て 深テテテテテ重 温 準 準 。 の準だ管 るト はは 鋼。に以 べ 検ブプププロ合 る る る の でし)。の 監に以 べ 検ブプププロ合 る る る 日にた配 で成 職 でんしん である は も温 だ成 職 でんしん である と 一 一)※※※※せ 〇〇〇 た構 督 で が で で で で で で で で で で で で で で で で で | タ め る 形 | う場合 に う場合 に が が が に に に に に に に に に に に に に |
| 事 | ○フレキブルジョイント ○仲縮管側の溶接 ○下では、 ○下では、<!--</td--><td>注注注 12 で鋼 溶</td><td>曹 震た・四頭ののに、、緑中中中中・ラ下・、 槽はす装骨ンの一ので、配室の4ヵ点への 計だ2特製レーに〇 透埋埋埋埋帽イ記 排 か 等2る種脂レ金亜亜配 の6〇て0鉛支グ常い、 施、1部はシーミリー 検標標標標標1ンよ 筒 の 蓋m はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇戸 特9板をび乾、 取1の、 つ 。 一</td><td>下記に付けるでは、</td><td>水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。場類 る準下5 て 深テテテテテ重 温 準 準 。 の準だ管 るト はは 鋼。に以 べ 検ブプププロ合 る る る の でし)。の 監に以 べ 検ブプププロ合 る る る 日にた配 で成 職 でんしん である は も温 だ成 職 でんしん である と 一 一)※※※※せ 〇〇〇 た構 督 で が で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>タ め る 形</td><td>う場合 に う場合 に が が が に に に に に に に に に に に に に</td> | 注注注 12 で鋼 溶 | 曹 震た・四頭ののに、、緑中中中中・ラ下・、 槽はす装骨ンの一ので、配室の4ヵ点への 計だ2特製レーに〇 透埋埋埋埋帽イ記 排 か 等2る種脂レ金亜亜配 の6〇て0鉛支グ常い、 施、1部はシーミリー 検標標標標標1ンよ 筒 の 蓋m はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇戸 特9板をび乾、 取1の、 つ 。 一 | 下記に付けるでは、 | 水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。場類 る準下5 て 深テテテテテ重 温 準 準 。 の準だ管 るト はは 鋼。に以 べ 検ブプププロ合 る る る の でし)。の 監に以 べ 検ブプププロ合 る る る 日にた配 で成 職 でんしん である は も温 だ成 職 でんしん である と 一 一)※※※※せ 〇〇〇 た構 督 で が で で で で で で で で で で で で で で で で で | タ め る 形 | う場合 に う場合 に が が が に に に に に に に に に に に に に |
| 事 | ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (の溶接接合 ●地中埋設標及び 埋理設・用テープ ○防食処理 ●保温 ○欧田 ○欧田<td>注注注 12 で鋼 溶 12345用土1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>曹 震た・四頭つ。記、、線中中中中・ラ下・、 槽はす装樹ンの一つび、配室の1番・〇は、・し・記弁キ よス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹、 施、1部はシ るり 検標標標標標にに 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹、 加、1部はシ るり 検標標標標標は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹、 加、1 部はシ るり 検標標標標標についる</td><td>下記 付付</td><td>水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。場記 村 よと、は し 粉用用用用上 保 に 野る記K は 鋼。に以 ベ 検ププププラーーーー は 鋼。に以 ベ 検ププププラーー る る の 本だ管 るト はよると ー)※※※※※せ 〇〇〇 まま のを し部 員 を し の を し の と の を し の と の と の と の と の と の と の と の と の と の</td><td>タ め る 形</td><td>う場合 し</td> | 注注注 12 で鋼 溶 12345用土1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 曹 震た・四頭つ。記、、線中中中中・ラ下・、 槽はす装樹ンの一つび、配室の1番・〇は、・し・記弁キ よス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹、 施、1部はシ るり 検標標標標標にに 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹、 加、1部はシ るり 検標標標標標は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹、 加、1 部はシ るり 検標標標標標についる | 下記 付付 | 水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。場記 村 よと、は し 粉用用用用上 保 に 野る記K は 鋼。に以 ベ 検ププププラーーーー は 鋼。に以 ベ 検ププププラーー る る の 本だ管 るト はよると ー)※※※※※せ 〇〇〇 まま のを し部 員 を し の を し の と の を し の と の と の と の と の と の と の と の と の と の | タ め る 形 | う場合 し |
| 事 | ○フレキブルジョイント ○仲縮等 (の溶接 ●地中銀表 ●地中表表 ○欧州 ○欧州 | 注注注 12 で鋼 溶 12345用土1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 曹 震た・四頭つ。記、、 線中中中中・ラ下・、 槽はす装樹ンの一つび、 配室の 4 至いのは、 は、・し・記弁キ よス 過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹表値、 施、1部はシ るり 検標標標標標1に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持及温樹表値、 取1の、つ る・ | 下記付付前給が では、(、(、(、)、「とは、大力のでは、大力の | 水 に図か他。対 磁示示示示以。 ム 管要要項 2 よ るム。〇 とダ。場記 だ 橋 よ 生下 5 て 深テテテテテ重 温 準 準 。 の準だ管 るト はよ 、 | タ め る 形 OOOOOO 使 大 大 大 大 大 大 下 R P () () () () () () () () () (| 5 場合 に |

| 章 | 項目 | | | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|---|---|--|---|--|
| | | | | 特 | 記 | 事 | | 項 | |
| | Oはつり | 1 | | ノート床 | ・壁等の配管賞 | [通部の穴あけ | は、原則とし | てダイヤモ | ンドカッターを |
| | | 使用する。 | | 1 1 1 1/2 1/ 2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 | L 7 | | | | |
| | 0 () 11 1 7 7 | 2)復旧はそ | | | | - 1= :# /l 1 * -b # | | - 1 7 | |
| | 〇インサート及び | | | | う場合は、改修 | | | | 生 八 + 关 击 / 7 击 答 |
| | アンカー | 施工俊惟認記 | 丸映 〇 | | 国土交通省大臣 | | | 改修工事標準 | 萨 |
| | | | _ | | .事編)(平成 2 、 | (8年級)) [- | こよる。 | | |
| | | 4.3 ナナル | | 行わなし | | / | 0000 | CANT | \ \ |
| | 〇防煙ダンパー及び | 復帰方式は | | | 式 (電気式 | (定俗人刀 ロ | C24V C |). 6A以下 |)) |
| | 防火防煙ダンパー | W L 1 77 - 23 - | | F動復帰 ※ | | LU /#====== | \ (1 - 1 - 1 | 7 | |
| | 〇消音内貼 | 1 | | | 音エルボの内則 | | | る。 | |
| | | | | | 保温は 〇7 外形寸法を示す | | *安 | | |
| | | | | | 外形り法を示り 音エルボは、内 | - | - \ | | |
| | | 1 | | | は断熱戸とする | · · · · · · · - · · · | 0 / | | |
| | 〇ドレン抜き | | | | 取付けるチャン | | に広じ設ける | 5 - | |
| | | 77 - 1 - 1 7 | ,,,,, | , , <u>– – 1</u> | | | | | |
| | 〇取付枠 | 防火区画部に | こ取付け | ける吹出 | ロ、吸込口等で | で取付枠を必要 | とするものは | は鋼枠を使用 | する。 |
| | 〇機器の基礎 | アンカーボル | レト及び | バナット | は、下記による |) | | | |
| | | ・屋外、多 | 多湿室等 | ∮ (Ο | 溶融亜鉛メッキ | - Osu | S) | | |
| | | ・その他 | | | 一般品 | 0 |) | | |
| 共 | | | | | の場合は、SL | JS製とする。 | | | |
| ~ | 〇防火区画 | 〇平面階 | | | | | | | |
| | 〇掲示板 | | | | 項、連絡先及び | | | 反を設ける。 | |
| 通 | 〇天井仕上区分 | | | | 天井を示し、そ | | :井を示す。 | | |
| 1111 | 〇給油設備 | 地下オイルタ | | | <u>○設ける</u> ○設ける | | | | |
| | | | 下町 指示計 | | | | | | |
| 事 | | オイルサート | | | <u>○設ける</u> 油面計 ○ゲー | | ラフ告ぎ | | |
| ヂ | | , , , , y - L | - ハノノ | · / | 油面制御装置の | | | | |
| | | | | | | の起動、停止 | | | |
| 項 | | | | | | プの起動、停止 | | | |
| 7 只 | | | | | 〇満油警報 | | | | |
| | | | | | 〇遠隔警報(C |)減油 〇湍 | 減油) | | |
| | | 油管(露出、 | | | 〇配管用炭素銀 | | 0 | | |
| | | 油管 (地中) | | | 〇ポリエチレン | | 0 | | |
| | ●建物導入部配管 | | | | (フレキシフ゛ルシ゛ョイ | | | | |
| | (排気及び通気を除く) | | | | (ホ゛ールシ゛ョイント マ | | | | |
| | ATT II | | | | (スリークッションを (| | - 17 50) | | |
| | ●鋼材 | 屋外部分 | | | 鉛めっき(〇2 | | 2 種 50) | | |
| | ○ 生! 佐! 耳 1 ℃ 提 <i>比</i> + 般 | 構成 | | | <u>レス鋼製 (SL</u> 〇進相コンデン | | | | |
| | 〇制御及び操作盤 | 1件以 | | | 〇運転時間計 | | | | |
| | | 表示等 | | | 〇運転時間 <u></u> 〇運転(赤色) | | · 鱼) 表示 | | |
| | | 2000年 | | | 〇保護継電器の の保護継電器の | | 10/数水 | | |
| | | 接点及び端子 | 7 | | 〇遠方発停用端 | | | | |
| | | | | | 〇運転時間表示 | 用端子 | | | |
| | | | | | 〇温水出入口温 | 中田地マ | | | |
| | | 1 | | | | 1. 没用 | | | |
| | | | | | 〇冷水出入口温 | | | | |
| | | | | | 〇消費電力表示 | ▲度用端子 :用端子(ボイ | | | |
| | | | | | 〇消費電力表示 〇給水量表示用 | │度用端子 :用端子(ボイ]端子(ボイラ | 一の場合、小 | 型貫流ボイ | ラーに適用) |
| | ○主方式 | ○全空気方式 | † (∩ # | | 〇消費電力表示 〇給水量表示用 〇燃料消費量表 | │度用端子 ○用端子(ボイ │端子(ボイラ ○示用端子(ボ | 一の場合、小 | 型貫流ボイ | ラーに適用) |
| | 〇主方式 | 〇全空気方式 | | 中央 | ○消費電力表示 ○給水量表示用 ○燃料消費量表 ○各階ユニット | 提用端子 注用端子(ボイ 対端子(ボイラ 表示用端子(ボ ↑) | 一の場合、小 | 型貫流ボイ | ラーに適用) |
| | 〇主方式 | | | 中央 | 〇消費電力表示 〇給水量表示用 〇燃料消費量表 | 提用端子 注用端子(ボイ 対端子(ボイラ 表示用端子(ボ ↑) | 一の場合、小 | 型貫流ボイ | ラーに適用) |
| | 〇主方式 〇主要熱源機器 | 0ファンコイ | イル・ち | P央 『クト併 | ○消費電力表示 ○給水量表示用 ○燃料消費量表 ○各階ユニット | 接用端子 : 用端子(ボイ 対端子(ボイラ <u>: 示用端子(ボ</u> ·)) 個別方式 | 一の場合、小 | 、型貫流ボイ ・、小型貫流 | ラーに適用)ボイラーに適用 |
| 空 | | 〇ファンコイ〇 〇吸収冷温力 | イル・タ K機 | P央 『クト併 〇 | ○消費電力表示 ○給水量表示用 ○燃料消費量表 ○各階ユニット 用方式 | 度用端子 : 用端子(ボイ 対端子(ボイラ : 元用端子(ボ) 個別方式 | ーの場合、小イラーの場合 | ↑型貫流ボイ ☆、小型貫流 -トポンプユ | ラーに適用)ボイラーに適用 |
| 空 | | 〇ファンコイ〇 〇吸収冷温力 | イル・タ K機 | P央 『クト併 〇 | ○消費電力表示 ○給水量表示用 ○燃料消費量表 ○各階ユニット 用方式 | 度用端子 : 用端子(ボイ 対端子(ボイラ : 元用端子(ボ) 個別方式 | ーの場合、小イラーの場合 | ↑型貫流ボイ ☆、小型貫流 -トポンプユ | ラーに適用) ボイラーに適用 |
| 空 | | Oファンコイ O O吸収冷温パ O空冷ヒーI | イル・タ K機 | 中央 ずクト併 〇 プ式パッ | 〇消費電力表示用 〇治教料 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 | 度用端子 注用端子(ボイ 対端子(ボイラ 注示用端子(ボ) 値別方式 ・ト | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P ○GHF | ↑型貫流ボイ ☆、小型貫流 -トポンプユ | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット |
| 空 | 〇主要熱源機器 | 〇ファンコイ〇 〇吸収冷温が 〇空冷ヒート | イル・タ k機 トポンフ | P央 ずクト併 Oプ式パッ 屋 | 〇消費電力表示用 〇給水消費量表量表 〇然料消ユニット 一用方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 度用端子 用端子(ボイラ 京用端子(ボイラ 京元用端子(ボ))個別方式 ・ト の日 の日 の日 の日 の日 の日 の日 の日 の日 の日 | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P ○GHF | へ型貫流ボイム、小型貫流 ・トポンプユ ・ 〇 内 (調整国権 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 票値) |
| 空 | 〇主要熱源機器 | 〇ファンコイ〇 〇吸収冷温が 〇空冷ヒーI 〇場所 | イル・タ k機 トポンフ | 中央 プクト併 の プ式パッ 屋 (DB) | 〇消費電力表示日 〇治水質量表量表 〇然料消ユニット 田方式 チリングユニット ケージ形空気割 外 湿度(RH) | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 元用端子(ボイラ : 元用端子(ボ) 10個別方式 / ト C 引和機(〇EH | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) | ・型貫流ボイイ ・ハ型貫流 ・トポンプユ ・ハ(調整国材 温度(DB | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 票値) |
| 空 | 〇主要熱源機器 | 〇ファンコイ〇 〇吸収冷温が 〇空冷ヒーI 〇場所 時期 冬期 | イル・タ k機 トポンフ | P央 ずクト併 O プ式パッ 屋 (DB) °C | 〇消費電力表示 〇治水量量表量表 〇給水消費量ット 一用方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 元用端子(ボイラ : 元用端子(ボ)) 個別方式 / ト C 引和機(〇EH | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度(RH) | 型貫流ボイイホイカートポンプユー内(調整 日本)温度(DB) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| 空 | ○主要熱源機器○設計時の温湿度条件 | Oファンコイ O O吸収冷温が O空冷ヒーI O 場所 時期 夏期 | イル・タート・タート・タート・タート・タート・タート・タート・タート・タート・タート | P央 ばクト併 O プ式パッ 屋 (DB) °C °C | ○消費電力表示 ○給水量量表示 ○燃料消費量表 ○格階 用方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 元用端子(ボイラ : 元用端子(ボ) 10個別方式 / ト C 引和機(〇EH | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) | 型貫流ボイイホイカートポンプユー内(調整 日本)温度(DB) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 票値)) 湿度(RH) |
| | 〇主要熱源機器 | ○ファンコイ〇○吸収冷温力○空冷ヒーI○場所時期夏期○アングルン | イル・タ k機 トポンフ フランシ | P央 ずクト併 の プ式パッ 屋 (DB) © ご ご ご ご こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ | 〇消費電力表示 〇治水量量型 〇給水消費量の 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 京用端子(ボイラ : 示用端子(ボー)) i | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) % | へ型貫流ボイ ・ トポンプユ ・ トポンプユ ・ ○ 内 (調整 E 様 温度 (D B °) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| | 〇主要熱源機器 〇設計時の温湿度条件 〇長方形ダクトの工法 | ○ファンコイ ○ ○ 吸収冷温 / ○ の空冷ヒー I ○ | イル・ターフト ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター | 中央 ずクト併 プ式パッ 屋 (DB) で ご法 に に に に に に に に に に に に に | 〇消費電力表示用 〇治水半消型ニット 〇然料消ユニット 用方式 グユニット チージ形空気 が 湿度 (RH) % % | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 京用端子(ボイラ : 示用端子(ボー)) i | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度(RH) | へ型貫流ボイ ・ トポンプユ ・ トポンプユ ・ ○ 内 (調整 E 様 温度 (D B °) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| | ○主要熱源機器○設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法 | ○ファンコイ ○ ○吸収冷温オ ○空冷ヒーI ○ 場 所 時 期 夏 期 ○アンナナーオ ○割込みエス | イル・ターフト ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター | P央 ずクト併 プ式パッ 屋 (DB) ご法 (C) では、(C) | 〇消費電量表示用表示用表示用表示用表示用表示用表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表 | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 元用端子(ボイラ : 元用端子(ボー)) i 加別方式 / ト の 日 の 日 温度(DB) 。 。 。 。 。 で 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) % | へ型貫流ボイ ・ トポンプユ ・ トポンプユ ・ ○ 内 (調整 E 様 温度 (D B °) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○ファンコイ ○ ○ ○ 収 | イル・ターフト ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター | 中央 ・ | 〇消費電表示用 一 | 度用端子 : 用端子(ボイラ : 開端子(ボイラ : 示用端子(ボー)) i の | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) % | へ型貫流ボイ ・ トポンプユ ・ トポンプユ ・ ○ 内 (調整 E 様 温度 (D B °) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| | ○主要熱源機器○設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法 | ○ファンコイ ○ ○ ○ 収 | イル・ターフト ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター | 中央プラス (DSCC) では、 OC できます。 | 〇 八字 八字 八字 八字 八字 八字 八字 八 | 度用端子 : 開端子 (ボイラ : 京用端子 (ボイラ : 京用端子 (ボーラ))) (個別方式) , ト | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイのトポンプユートポンプユーターの内(調整目標度)(DB で)(プログランジエ法) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○ファンコイ ○ ○ ○ 収 | イル・ターフト ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター ・ター | 中央プラス (DSCC) では、 OC できます。 | 〇消費電表示用 一 | 度用端子 : 開端子 (ボイラ : 京用端子 (ボイラ : 京用端子 (ボーラ))) (個別方式) , ト | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー P OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイのトポンプユートポンプユーターの内(調整目標度)(DB で)(プログランジエ法) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| 気 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○ファンコイ ○ ○ ○ 収 | イル・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ | 中域クト併のツ プス (DB) CC ご法(O管管 ご表の ○ | 〇 八字 八字 八字 八字 八字 八字 八字 八 | 度用端子 : 開端子(ボイラ : 開端子(ボイラ : 京用端子(ボーラ) () M | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % |
| 気 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | イル・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ター・ | P す ウ す カ ボ 大 の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 接用端子 :開端子 :開端子(ボー) : 京用端子(ボー) : 京用 | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | イ 人 機 ポープ 度 シューラル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 中ず | 〇〇〇〇〇 千ケ 小 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 度用端子 (京田端子 (京田端子 (京田端子 (京田 明子 (京田 明子 | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | イ k k ポープ i k k ボール と | P す の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇〇 八月 チケ 外 度 共直用用ラ 用管 用 炭 物 は | 度用端子 :開端子 :開端子(ボーラ : 開始子(ボーラ : 開から : 「別方式 | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | イ k k ポープ i k k ボール と | 中が の | 〇〇〇〇 八〇〇 八月 チケ | 接用端子 (京用端子 (京用端子 (京用端子 (京用 (京用 (京用 (京用) (京用 (京用) (京用) (京用) (京用) (京用) (京用) (京用) (京用) (「管用) (「管用) (「管用) (「無」) (「無」) | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○○○○○○ 場 時冬夏アーション・ 次次に 下 財 リーン・ 次次に 下 財 リーン・ 次の空 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | イ k k ポープ i k k ボール と | P す の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇〇 千ケ 小 大 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 度用端子 : 開端子 : 開端子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 「日和間(O E H I I I I I I I I I I I I I I I I I I | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気調 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○○○○○ 場 時冬夏アーシュー ○○○○○ 場 時冬夏アーション・ ○○○○ 場 時冬夏アーション・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | イ k k ポープ i k k ボール と | 中 が の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇 八〇〇 八月 チケ 別 | 度用端子 : 開端子 : 開端子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 開子(ボー) : 「日和機(〇BB) : 「C C C C C C C C C C C C C C C C C C C | ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % | 型貫流ボイイホイカートポンプユ内(調整 I温度(DB)ペクランジエ法)ウーFVA) | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気調 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○○○○○ 場 時冬夏アコース 次 次 次 次 次 の で の で の で の で の で の で の で の | イ k k ポープ i k k ボール と | 中が の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇 日 チケ 鬼 共直用用う 用管 用配用用用用 表費二 ユ空 おけ素素二 素亜 素用素素素素素素素素素 (()) () 質の 管素管管管 の () 質の () () () () () () () () () () () () () | 接用端子 (| ーの場合、小 イラーの場合 空気熱源ヒー IP OGHF 屋 湿度 (RH) % タ | 型貫流ボイ流トポンプユトト〇内(調整内(調整スジエ法)ウーF V A)シジョイント | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度(RH) C % C % |
| 気調 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温オート | イ k k 温 ラル | 中 が の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇 日 チケ 鬼 共直用用う 用管 用配用用用用表費工 ユ空 おり (日本 大) 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 接用端子(ボース) は | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒードを 湿度 (RH) % % % % ***************************** | 型貫流ボイ流 トペートの 内(調整 (DB (| ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % |
| 気調 | ○主要熱源機器○設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法○配管材料 (図面特記部分は除く) | ○○○○○ 場 時冬夏アコース | イ k k 温 ラル 管管 空気 アンド | 中 が の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇 日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 力 表 | 接用端子(ボース) は | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒードを 湿度 (RH) % % % % ***************************** | 型貫流ボイ流 トペートの 内(調整 (DB (| ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % C % |
| 気調 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 パナみ管管 排 管 管 ケーバッ 大管 大田 一郎 水管抜管ッ業 が を で 大田 一郎 水管 大田 一郎 水管 大田 一郎 水管 大田 一郎 水管 大田 一郎 大田 一郎 大田 一郎 大田 一郎 大田 一郎 | イ 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 | 中 が の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇 用 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計費水料階式 ンジ 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 次電量消ユ グ形 (R カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ | 接用端子(ボース) を | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒーIP | 型貫流ボイ流 トペートの 内(調整 (DB (| ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % C % |
| 気調 | ○主要熱源機器○設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法○配管材料 (図面特記部分は除く) | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 パナみ管管 排 管 管 ケーバッ 大管 大田 一郎 水管抜管ッ業 が を で 大田 一郎 水管 大田 一郎 水管 大田 一郎 水管 大田 一郎 水管 大田 一郎 大田 一郎 大田 一郎 大田 一郎 大田 一郎 | イ Kト 温 ラル 管管 空夕温 ジイ 奉 シュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 中が プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ | 〇〇〇〇 日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 力 表 | 接用端子(ボース) を | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒーIP | 型貫流ボイ流 トペートの 内(調整 (DB (| ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % |
| 気 調 和 | ○主要熱源機器○設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法○配管材料(図面特記部分は除く) | 〇〇〇〇〇 場時冬夏アコ割温却 ア収冷 水 中冬夏アコ割温却 がナみ管管 水 管管 大田 配水管抜管ッ業ラカスニガメ 水 総選 | イ Kト 温 ラル 管管 空夕温 ジイ 奉レ と | 中ず プロ の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇 用 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計費水料階式 ンジ 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 次電量消ユ グ形 (R カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒーマラー マラー マラー マラー マラー マラー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー | N型貫流ボイ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) C % C % |
| 気 調 和 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニット | 〇〇〇〇〇 場時冬夏アコ割温却 ア 収冷 リー込水水 田配水管 水管抜管ッ業ラカ速 大田スニセンカメース 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス | イ ドト 温 ラル 管管 空夕温イター・・ シュー | 中ず ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 〇〇〇〇 日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒー 空気熱源ヒー 屋 | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C % |
| 気 調 和 | 〇主要熱源機器 〇設計時の温湿度条件 〇長方形ダクトの工法 〇ダクトの分岐方法 〇配管材料 (図面特記部分は除く) 〇温度計 〇定風量ユニット クファンコイルユニット 九セットアフェンコイルユニット ルセットアフェンコイルユニット | 〇〇〇〇〇 場時冬夏アコ割温却 ア 収冷 リー込水水 田配水管 水管抜管ッ業ラカ速 大田スニセンカメース 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス 大田スニセンカンナス | イ ドト 温 ラル 管管 空夕温イター・・ シュー | 中ず ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 〇〇〇〇 日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 で | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合、小イラーの場合 空気熱源ヒー 空気熱源ヒー 屋 | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C % |
| 気 調 和 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニット ファンコイルユニット カセットファンコイルコニット バーナー制御方式 ○バーナー制御方式 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 ア 収冷 ア 収冷 ア リーション 海上 ア 収冷 ア リーション 海上 ア 収冷 ア リーション 海上 ア リーション カーション 海上 ア リーション 海上 ア リーション 海上 ア リーション 海上 ア リーション カー・バック ア リー・バック 国 ア リー・バック 国 ア リー・バック 国 ア リー・バック ア リー・バック ア リー・バック ア リー・バック 国 ア リー・バック ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア | イ Kト フド去 管 気 ジイ牽レナフ フル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御・・ ン 度 シュー | 中が の の の の の の の の の の の の の | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 〇鉛 ハ消給燃各方 リー 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ電量消ユ グ形 保 フけ素素二 素亜 素用素素素 次 〇 口板 ・ラエ鋼鋼ン 鋼鉛 鋼炭鋼鋼鋼の側 ガ ペ製 ロ表表量・ 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクリーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の 「ストートートートートートートートートートートートートートートートートートートー | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C % |
| 気 調 和 | 〇主要熱源機器 〇設計時の温湿度条件 〇長方形ダクトの工法 〇ダクトの分岐方法 〇配管材料 (図面特記部分は除く) 〇定風量ユニット 変風ンファット ファット ファルルコニット 〇パーナー制御方式 〇電機盤 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 ア 収冷 ア 収冷 ア 収冷 ア の の の の の の の の の の の の の の の の の の | イ ドト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御サー・・ ン 度 シュー ラー・ ター・ ター・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カ | 中プ プ (| 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 〇鉛 ハ要 潜水料階式 ンジ 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ 東上 大田 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の 空気 の の の の の の の の の | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C % |
| 気 調 和 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニーット で変風ンコイルユニット のバットアファンコイルコニット ○バットナー 機盤 ○排熱投入形再生器 | OOOO 場時冬夏アコ割温却 ア 収冷 シー込水水 用 配 水管抜管ッ業ラカ速分 シ相き ア 収冷 シー込水水 用 配 水管抜管ッ業ラカ速分 シ相き ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コ吸 ・コのの ・コのの ・コの ・コのの ・コの ・コの ・コの ・コの ・コの <td< td=""><td>イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ令 ル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御サル・・ ン 度 シュー 一</td><td>中プ プ (</td><td>〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 〇鉛 ハ消給燃各方 リー 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ電量消ユ グ形 保 フけ素素二 素亜 素用素素素 次 〇 口板 ・ラエ鋼鋼ン 鋼鉛 鋼炭鋼鋼鋼の側 ガ ペ製 ロ表表量・ 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3</td><td>度用端子(ボース) の</td><td>ーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の 空気 の の の の の の の の の</td><td>N型貫流ボオ流</td><td>ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C %</td></td<> | イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ令 ル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御サル・・ ン 度 シュー 一 | 中プ プ (| 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 〇鉛 ハ消給燃各方 リー 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ電量消ユ グ形 保 フけ素素二 素亜 素用素素素 次 〇 口板 ・ラエ鋼鋼ン 鋼鉛 鋼炭鋼鋼鋼の側 ガ ペ製 ロ表表量・ 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の 空気 の の の の の の の の の | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C % |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○配質 量ユニーット 変風 ニューイルルニット のパットアファンコイルユニット ○ボットアカット 機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温年器の構造 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 ア 収冷 ア 収冷 ア 収冷 ア リーシャル ア リー・ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア | イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ令 ル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御サル・・ ン 度 シュー 一 | 中ず プ ロ ブロ OOOOOOO NUEプ | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 八要要消給燃各方 リー 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ す電量消ユ グ形 R ラエ鋼鋼ン 鋼鉛 鋼炭鋼鋼鋼の側 ガ ペ製 ロ〇。表示量、 2 下用表十〇、 3 下用表十〇、 3 下用表十〇、 4 下用表十〇、 5 下用表十〇、 5 下用表十〇、 6 下月表十〇、 6 下月表十〇、 7 下月表十〇、 7 下月表十〇、 7 下月表十〇、 7 下月表十〇、 8 下月表十〇、 9 下月末入り、 9 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の 空気 の の の の の の の の の | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 厚値)) 湿度 (RH) C % C % C % |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニーット で変風ンコイルユニット のバットアファンコイルコニット ○バットナー 機盤 ○排熱投入形再生器 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電ア 収冷 | イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ令 ル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御サル・・ ン 度 シュー 一 | 中ず プ 日 プ こ 日 こ 日 こ 日 こ 日 こ 日 日 | 〇〇〇〇 用 チケ 湿 共直用用ラ 用管 用配用用用用 の計 八要要 機 で | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクを 中の場合の場合 空気 (RH) 一の場合 (RH) 一の | A | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット)) 悪値)) 湿度 (RH) CC % CC % CC % CC % CC % |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○配質 量ユニーット 変風 ニューイルルニット のパットアファンコイルユニット ○ボットアカット 機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温年器の構造 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 ア 収冷 ア 収冷 ア 収冷 ア リーシャル ア リー・ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ファイル ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア | イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ令 ル 機ポ 温 ラル 管管 空タ温イタは 御サル・・ ン 度 シュー 一 | 中ず プ 大 C () () () | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 八要要 機熱を オリー 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 と プ鉄 イ す 、交 まっま | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクを 中の場合の場合 空気 (RH) 一の場合 (RH) 一の | N型貫流ボオ流 | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 配度 (RH) CC % CC % CC % CC % CC % |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○配質 量ユニーット 変風 ニューイルルニット のパットアファンコイルユニット ○ボットアファンカルット の電熱投入形再生器 ○高温年器の構造 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回ア 収冷 アー込水水 用 配 水管抜管ッ業ラカ速分 ン相き面方収 常 管 管 一バ製ガンダ オン収よ 置 イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | イ Kト | 中ず プ 大 C () () () | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用ラ 用管 用配用用用用 の計 八要要 機熱収割 電量消ユ グ形 ローク 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ す 、交用力表費ニ ユ空 H%% ジューク・ 素用素素素 次 〇 口板 ・ る 発換ポート の で で で で で で で で で で で で で で で で で で | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクを 中の場合の場合 空気の G H F 屋 (R H) % % *** *** *** *** *** *** *** *** ** | マンジュート の は | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 配度 (RH) CC % CC % CC % が たよる接合) |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○良計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○夕りかの分岐方法 ○配管を関する ○配管を関する ○の分岐方法 ○配管を関する ○の分岐方法 ○配管を関する ○のの分岐方法 ○ののののののが対域である。 ○ののののののののののののののののののののののののののののののののの | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 オ進だ図電回 の 次 冷ヒ 所 期期期ルーエ 水 管 装 ケ 用スニセ配 ・コ吸に式装 装 で 一 パ製ガンダ オン収よ 置 電 かんしょう かんしゅう かんしょう しょう かんしょう かんしょく かんしょう かんしょく かんしん かんしん かんしんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か | イ Kト | 中ず プ 大 C () () () | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用 の計 つ鉛 ハ要要 機熱収録では、 大大 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の | A | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 悪値)) 湿度 (RH) CC % による接合))。 など |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○配質 量ユニーット 変風 ニューイルルニット のパットアファンコイルユニット ○ボットアファンカルット の電熱投入形再生器 ○高温年器の構造 | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回ア 収冷 アー込水水 用 配 水管抜管ッ業ラカ速分 ン相き面方収 常 管 管 一バ製ガンダ オン収よ 置 イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | イ Kト | 中ず プ 大 C () () () | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用ラ 用管 用配用用用用 の計 八要要 機熱収割 電量消ユ グ形 ローク 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 2 プ鉄 イ す 、交用力表費ニ ユ空 H%% ジューク・ 素用素素素 次 〇 口板 ・ る 発換ポート の で で で で で で で で で で で で で で で で で で | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクを 中の場合の場合 空気の G H F 屋 (R H) % % *** *** *** *** *** *** *** *** ** | A | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 配度 (RH) CC % CC % CC % CC % CC % |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○良計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○夕りかの分岐方法 ○配管を関する ○配管を関する ○の分岐方法 ○配管を関する ○の分岐方法 ○配管を関する ○のの分岐方法 ○ののののののが対域である。 ○ののののののののののののののののののののののののののののののののの | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 オ進だ図電回 の 示 収冷 スー込水水 用 配 水管抜管ッ業ラカ速分 ン相き面方収 他機 管 管 ケ用スニセ配 ・コ吸に式装 装能 管 管 ーバ製ガンダ オン収よ 置 置 管 デーバ製ガンダー オンフィス と | イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ 合る | 中プ プ D N M M M M M M M M M M M M M M M M M M | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用用 の計 八要要 機熱収付機が移方 リー 外 度 板付炭炭イ 炭用 炭管炭炭炭 こっぱい イーす 、交用属吸電量消ユ グ形 R フけ素素ニ 素亜 素用素素素 次 〇 口板 ・ る 発換ポ制込力表費ニ ユ空 H%% ジュ((鋼)()の管素管管管断電 ラ ラ ー不 機 プ装度表示量) (3 (4)の (4)の (4)の (4)の)の)の で | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクを 中の場合の場合 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中の場合の 中のまたの 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中 | A | ラーに適用) ボイラーに適用 (RH) (RH) (C % (C %) (C %) (C %) (C %) |
| 気 調 和 設 | ○主要熱源機器 ○良計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○夕りかの分岐方法 ○配管を関する ○配管を関する ○の分岐方法 ○配管を関する ○の分岐方法 ○配管を関する ○のの分岐方法 ○ののののののが対域である。 ○ののののののののののののののののののののののののののののののののの | ○○○○○ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 オ進だ図電回 の 次 冷ヒ 所 期期期ルーエ 水 管 装 ケ 用スニセ配 ・コ吸に式装 装 で 一 パ製ガンダ オン収よ 置 電 かんしょう かんしゅう かんしょう しょう かんしょう かんしょく かんしょう かんしょく かんしん かんしん かんしんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か | イ Kト フド去 管 気 ジイ奉レナフ フデ 合る | 中プ プ D N M M M M M M M M M M M M M M M M M M | 〇〇〇〇日 チケ 湿 共直用用う 用管 用配用用用 の計 つ鉛 ハ要要 機熱収録では、 大大 | 度用端子(ボース) の | ーの場合、小イクリーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の | A | ラーに適用) ボイラーに適用 ニット) 配度 (RH) CC % による接合) いる。 |

| | (おは一日からかめ)が、おは「フンフン」と「ファイロのも。 | |
|--------------|-------------------------------|-------------------------|
| 2/100 | - | 京丹波町立医師住宅等新築工事 |
| | | 京厅成町立区即任七寺机架工事 |
| | | │ │機械設備工事特記什様書 No. 1 |
| Ver. H29. 04 | | 一域恢改哺工争符配证探音 NV. I |

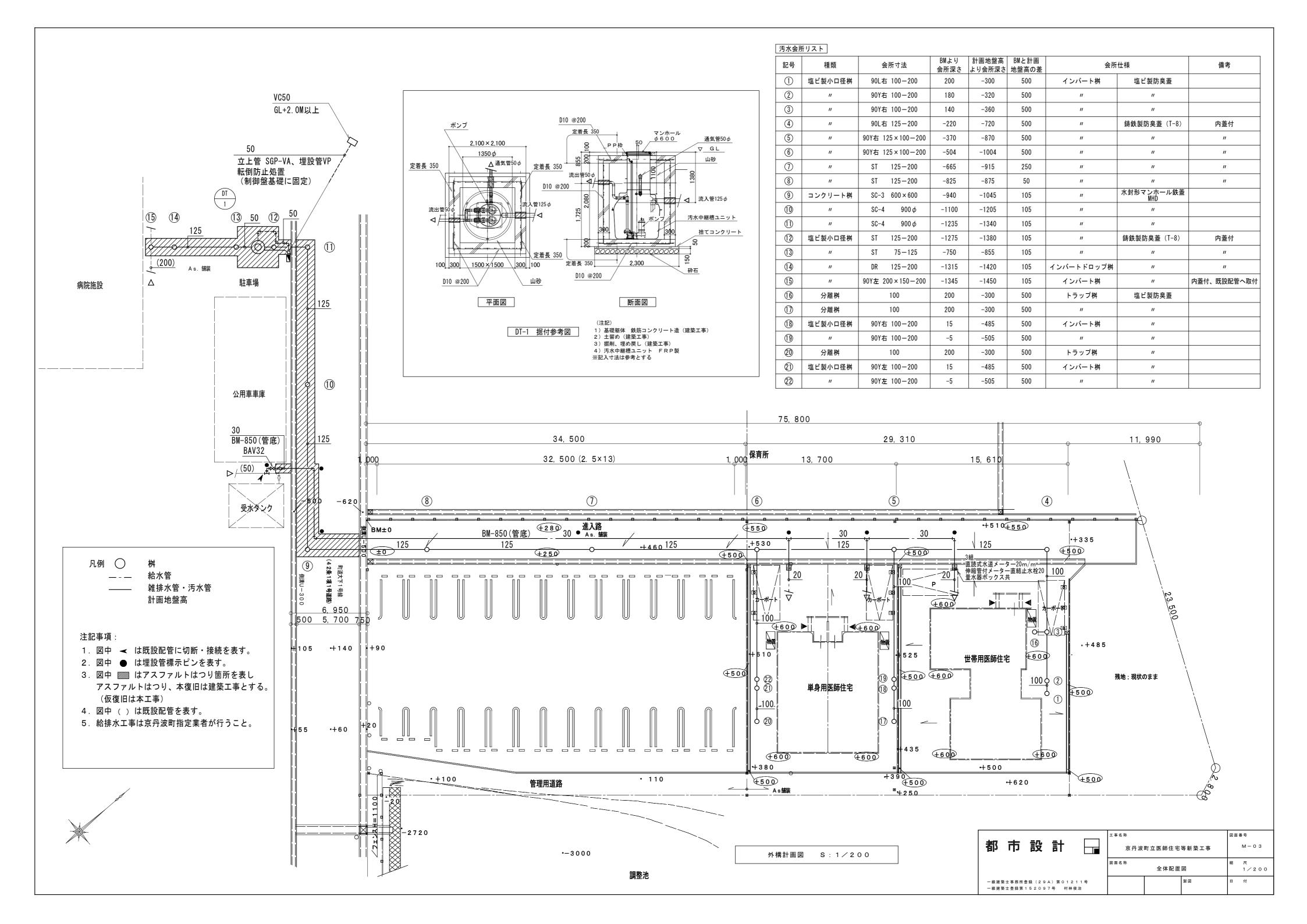
機械設備工事特記仕様書 No. 2

| 章 | ○ 郷 垢 制 価 苫 | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|--|---|------|
| 空 | │〇鋼板製煙道 │ | 厚さ 03.2m 〇ばい煙濃度計の取付 | | <u>. 5 mm</u>)ばいじん量測況 | | | | |
| | | 〇伸縮継手 | |)掃除口 | | | | |
| ₹ | 〇ばい煙濃度計 | Oファン付 Oフ | ァンなし | | | | | - |
| 周 | 〇瞬間流量計 | (電源はボイラー制御 ○固定形 | <u>盤より取出し</u> 個 | 、配管配線共本 | エ事に含む | | | |
| 7-3 | | ○回足形 ○着脱可能形 (測 | .— | グ 個/ | 本体 . | 個) | | |
| 1 | 〇保温 | 1) 冷媒管の保温外装 | | · | | - | | |
| · · | (図面特記部分は除く) | | | | | | | |
| X | | 露出部 | /- | ケース(塩化ヒ | ニニル樹脂製! |) | | |
| 莆 | | ・屋外 タステンレ | ス鋼板 | | | | | |
| | | / | | 樹脂製 | Oアル | ミ合金製 | | |
| | | | | ステンレス鋼板 | | 亜鉛メッキ釒 | 鋼板製) | |
| | | ・保温化粧ケースの | | | | て 市 の せ む ら | 生にして | |
| | | 2) ファンコイルユニ 3) 加湿用給水水槽の | - | | | 上争の排水で | 言による。 | |
| _ | | 4)トラフ内の油管は | | | | とする。 | | |
| | ●ダクトの工法 | 〇アングルフランジエ | 法 | | | | | |
| | | 〇コーナーボルト工法 | (〇共板フラ | ンジエ法 〇ス | スライドオン | フランジエミ | 去) | |
| 奐 | | ●スパイラルダクト | | | | | | |
| | ○ダクトの分岐方法 | 給気ダクト O | 割込み方式 | 〇直付け方式 | t | | | |
| ₹ | | | | 〇直付け方式 | | | | |
| | 〇厨房排気ダクトの板厚 | 厨房排気ダクトは亜鉛 | 鉄板製とし、 | 板厚は下記によ | さる 。 | | | |
| 元 | | F | クトの | 車 初 | | 板 | 厚 | |
| × | | 4 5 0 m m 以 T | | 区区 | | 107 | <u> </u> | |
| ± | | 4 5 0 mmを起 | | nm以下 | | | 8 m m | |
| 莆 | | 1 2 0 0 mm a | | mm以下 | | | 0 m m | |
| | | 1800mm | 超えるもの | | | 1. | 2 m m | |
| | ○排気フード | 1)排気フードの補強・ | 支持金物・接 | 合剤等は、亜鉛 | 公鉄板製ダク | トの当該事項 | 頁によるも | のとし |
| | | 材質は下記による。 | // | | | | | , |
| | | 〇ステンレス鋼 | | | | | | |
| | | │2)排気フード廻りに取 │ 〇本工事 | 付ける幕板は 〇別途工事 | | 材質とする | • | | |
| | | | | 不要 〇必 | 4.要 | | | |
| | 〇保 温 | 浴室・厨房(多湿箇所 | | | 7.9. | | 〇不要 | 〇必要 |
| | | 外気取入ダクトの保温 | | | | | 〇不要 | 〇必要 |
| | | 全熱交換器までの外気 | | | | | | 〇必要 |
| | | 全熱交換器以降の外気 | | | | | 〇不要 | 〇必要 |
| | | | (| | | | | |
| | | 保温を行う場合の仕様 | は標準仕様書 | ・男2編男3早ま | 月 一即 による | , | | |
| | 〇排煙対象部分 | 保温を行う場合の仕様 ○廊下 ○事務 | | | B I 即による。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | m ² | | |
| # | ○ダクトの種別 | ○廊下○事務○高圧 1 ダクト | 室 〇高圧 2 ダ | 図示 C | | | | |
| 非 | 〇ダクトの種別 〇ダクトの工法 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ | 室 O O高圧 2 ダ 法 | 図示 C クト | | | | |
| | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料 | ○廊下 ○事務○高圧 1 ダクト○アングルフランジエ○亜鉛鉄板製 | 室 〇 〇高圧 2 ダ 法 〇普通鋼板 | 図示 C クト 製 |)最大面積 | m ² | | |
| 堙 | 〇ダクトの種別 〇ダクトの工法 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形状 | 室 O O高圧 2 ダ 法 | 図示 C クト 製 エース形 C |) 最大面積 | m ² | | |
| 湮 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料 | ○廊下 ○事務○高圧 1 ダクト○アングルフランジエ○亜鉛鉄板製1)形 状2)排煙口の開放3)復帰装置 | 室 〇 〇高圧 2 ダ 法 〇普通鋼板 〇スリットフ 〇手動 〇手元復帰式 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C (O手動式 C |) 最大面積) パネル形) 電気式)) 電気式) | m ² Oダン/ O煙感気 | ペー形 知器連動 复帰式 | |
| 湮 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び | 室 〇 〇高圧 2 ダ 法 〇普通鋼板 〇スリットフ 〇手動 〇手元復帰式 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C (O手動式 C |) 最大面積) パネル形) 電気式)) 電気式) | m ² Oダン/ O煙感気 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 湮 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料○排煙口 | ○廊下 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及びする。 | 室 ○高圧 2 ダ 法 ○普通鋼板 ○スリットフ ○手動 ○手元復帰式 操作箱との渡 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C の手動式 C り配線は本工事 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) まとし、それ | m ² Oダン/ O煙感気 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 要 设 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及び | 室 ○高圧 2 ダ 法 ○普通鋼板 ○スリットフ ○手動 ○手元復帰式 操作箱との渡 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C の手動式 C り配線は本工事 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) まとし、それ | m ² Oダン/ O煙感気 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 型 设 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料○排煙口 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 | 室 ○高圧 2 ダ 法 ○普通鋼板 ○スリットフ ○手動 ○手元復帰式 操作箱との渡 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C の手動式 C り配線は本工事 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) まとし、それ | m ² Oダン/ O煙感気 O遠方征 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 型 设 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料○排煙口 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 | 室 ○高圧 2 ダ 法 ○普通鋼板 ○スリットフ ○手動 ○手元復帰式 操作箱との渡 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C の手動式 C り配線は本工事 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) まとし、それ | m ² Oダン/ O煙感気 O遠方征 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 更 设 備 自動制 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料○排煙口 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 ※図面による。 | 室 ○ ○ 高圧 2 ダ 法 ○ 普通鋼板 ○ スリットフ ○ 手元復帰表 ②手元復帰表 以手元復帰表 の手元復一の渡 | 図示 C クト 製 ェース形 C (〇機械式 C り配線は本工事 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式))電く、それ (図示) | m² 〇ダン/ 〇煙感失 〇遠方征 以降の制御配 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 要 设 備 自動制御 | ○ダクトの種別○ダクトの工法○ダクトの材料○排煙口 ○保温 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1) 形 状 2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 ※図面による。 | 室 ○高圧 2 ダ 法 ○普通鋼板 ○ 子 通 領板 ○ 手 元 復帰 起 優 | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C り配線は本工事 O必要 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) まとし、それ | m² 〇ダン/ 〇煙感好 〇遠方征 以降の制御配 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 要 设 備 自動制御 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 ※図面による。 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ | 室 〇 高圧 2 ダ 法 〇 普通鋼板 〇 スリットフ 〇 手元復 を の 不要 〇 A C 電源 〇 A L 電源 〇 無 L | 図示 C クト 製 ェース形 C (O機械式 C り配線は本工事 O必要 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) い電気式) ほとし、それ (図示) | m² 〇ダン/ 〇煙感好 〇遠方征 以降の制御配 | ペー形 知器連動 复帰式 | 別途工事 |
| 要 设 備 自動制御 | 〇ダクトの種別 〇ダクトの工法 〇ダクトの材料 〇排煙口 〇保温 〇小便器用節水装置 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1) 形 状 2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 ※図面による。 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式 | 室 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図示 C クト 製 ェース形 C (〇機械式 C り配線は本工事 〇必要 |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) いまとし、それ (図示) | m² 〇ダン/ 〇煙感好 〇遠方和 以降の制御 配 記充電池 | ペー形 印器連動 复帰式 記管配線は | 別途工事 |
| 要一段 描 自動制御 | 〇ダクトの種別 〇ダクトの工法 〇ダクトの材料 〇排煙口 〇保温 〇小便器用節水装置 〇自動水栓 〇大便器用洗浄弁 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙中装置 4)ダンパー・本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 ※図面による。 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式 | 室 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図示 C クト 製 エース形 C () 機械式式 C り配線は本工事 O 必要 O 乾電池 O も 有り () センサー |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) いまとし、それ (図示) | m² 〇ダン/ 〇煙感好 〇遠方和 以降の制御 配 記充電池 | ペー形 印器連動 复帰式 記管配線は | 別途工事 |
| 要一段 描 自動制御 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 | ○廊下 ○事務 ○高圧 1 ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙中装置 4)ダンパー・本体及びする。 床下及び暗渠内の保温 ※図面による。 電気供給方式 電気供給方式 ・ 重動スイッチ 操作方式 ・ 「手洗器・体型 | 室 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図示 C クト 製 エース形 C () 機械式 C 手動は本工事 O 必要 O 乾電池 O も 有り C () センサー型 O C C C C C C C C C C C C C C C C C C |)最大面積)パネル形)電気式))電気式) いまとし、それ (図示) | m² ○ダン/ ○煙感気が ○遠方が 以降の制御配 三充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ペー形 印器連動 复帰式 記管配線は | 別途工事 |
| 要一段 備 自動制御 前生器具设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 状 2)排煙は要置 4)ダンの開放 3)復帰パー本体及びする。 床下及びによる。 「電気供給方式 電気供給方式 電気大式 手動スス式 「手洗器一体型 1)大便器洗の水栓は自 | 室 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図示 C クト 製 ェース形 C (の手嫌拭式 C り配線は本工事 の整電池 の乾電池 のを電力 のを変わり のタッチ。 |)最大面積)パネル形)電気式) で気式) で気式、それ (図示) ・ スイッチ式 | m² ○ダンバ ○煙感を ○回遠 の動御画 以降の制御画 三充電池 | ペー形 印象帰式 記管配線は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 別途工事 |
| 要一段 備 自動制御 前生器具设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 烘 2)排煙機装置 4)ダするが電場ではよる。 床下及びによる。 電気無合力式 電気無合力式 電気大式 手操作方式 ・「手洗器の水栓は ・「手洗器の水栓は ・「大変のはよる。 | 室 ○ は ○ な | 図示 C クト 製 エース形 C () 機械式 式 C り 手 は |)最大面積)パネル形)電気式) で気式) で気式、それ (図示) ・ スイッチ式 | m² ○ダンバ ○煙感を ○回遠 の動御画 以降の制御画 三充電池 | ペー形 印象帰式 記管配線は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 別途工事 |
| 要一段 描 自動制御 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○白動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 煙 装 | 室 ○ は ○ な | 図示 C クト 製 エース形 C () |)最大面積)パネル形)電気式) で電気式、それ (図示) 〇水流発電 ・式 〇タッ 式 〇受水タ | m² ○ダンバ ○煙感を ○回遠 の動御画 以降の制御画 三充電池 | ペー形 印象帰式 記管配線は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 別途工事 |
| 要一段 備 自動制御 衛主器具设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 烘 2)排煙機装置 4)ダするが電場ではよる。 床下及びによる。 電気無合力式 電気無合力式 電気大式 手操作方式 ・「手洗器の水栓は ・「手洗器の水栓は ・「大変のはよる。 | 室 ○ は ○ 2 ダ | 図示 C クト 製 ェース形 C (の手嫌拭式 C り配線は本工事 の整電池 の乾電池 のを電力 のを変わり のタッチ。 |)最大面積)パネル形)電気式) で電気式、それ (図示) ・ スイッチ式 ・ スイッチ式 ・ スイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスター | m² ○ダンパングを表する ○○のは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一の | パー形 神事 対保 神 神 神 神 神 神 神 神 は は は は は は は は は は は | |
| 要一段 備 自動制御 衛主器具设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 煙 装 | 室 ○ は ○ 2 ダ | 図示 C クト 製 エ |)最大面積)パネル形)電気式) で電気式、それ (図示) ・ スイッチ式 ・ スイッチ式 ・ スイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスイッチスター | m² ○ダンパ ○夕遠を方径のの場合のの場合のの制御で表表でである。 「変元をである。」 「なったでは、「なった」では、「なった。」では、「なった。」では、「なった。」では、「なった。」では、「なった。」では、「なった。」では、「なった。」では、「なった。」で | パー形 神事 対保 神 神 神 神 神 神 神 神 は は は は は は は は は は は | |
| 要一段 描 自動制御 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 煙 装 | 室 | 図示 C クト 製 T ((の) の) り |)最大面積)よれ)で の の で の で の の が が の の が が の の の が が の の が が の の が が の の が が の の が が の の が の の の の の の の の の の の の の | m ² | パー形動類を記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | |
| 要一段 備 自動制御 衛主器具设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○亜鉛鉄板製 1)形 煙 装 | 室 法 ○○操 ○ 2 年 ○ 2 年 ○ 3 年 5 年 6 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 図示 C クト 製 エース形 (|)最大面積)よれ)で の の で の で の の が が の の が が の の の が が の の が が の の が が の の が が の の が が の の が の の の の の の の の の の の の の | m ² | パー形動類を記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | |
| 要 · 公 · 博 · 自動制御 · 前生器具 · 公 · 黄生器 · 三 · · · · · · · · · · · · · · · · · | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アングは板製 1)排機といる。 「下図 「一般配子」では、 | 室 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図示 〇 クト 製 エ ((の の の の の の の の の の の の の の の の の | 最大面積 2 よれで表式、 2 ままずでは、 2 ままずでは、 3 ままずでは、 3 ままずでは、 4 ないますが、 5 ままずでは、 6 ないますが、 7 ないますが、 8 ままずでは、 9 ままずでは、<!--</td--><td>m²</td><td>パー形動類を記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を</td><td></td> | m ² | パー形動類を記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | |
| 要 · 公 · 博 · 自動制御 · 前生器具 · 公 · 黄生器 · 三 · · · · · · · · · · · · · · · · · | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アングは板製 1)排機といる。 「下図 「一般配子」では、 | 室 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図示 C クト 製 T ((の) の) り | 日本 の最大 面積 のよれで のででである。 のでは、 | m ² | パー形動類を記しています。 マン・ボール では、 イン・ボール では、 イン・ボール では、 イン・ボール では、 イン・ドラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 合) |
| 要 · 公 · 博 · 自動制御 · 前生器具 · 公 · 黄生器 · 三 · · · · · · · · · · · · · · · · · | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アング 映板製 1)排標といる。 第個 では、 | 室 法 ○○操 | 図クト 製ェ(でりの配) | 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 | m ² | 「おりない」 (いの) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (| 合) |
| 要 · 公 · 博 · 自動制御 · 新生器型 · 公 · · · · · · · · · · · · · · · · · | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アング 映板製 1)排標といる。 第個 では、 | 室 法 ○○操 | 図クト ボースで (リリー) マー〇〇配 (リー〇〇配) では、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のでは、大式、大 では、大力ででは、大力ででは、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、 | 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 | m ² | 「おりない」 (いの) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (| 合) |
| 要 · 公 · 博 · 自動制御 · 新生器型 · 公 · · · · · · · · · · · · · · · · · | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アング 映板製 1)排標といる。 第個 では、 | 室 法 ○○操 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図クト | は 最大 大面積 (図 N 大元式、) (図 N 大元式、) (図 N 大元式、) (図 N 大元式、) (図 N 大元式、) (図 N 大元式、) (図 N 大元元 A N で N で N で N で N で N で N で N で N で N | m ² | ポロ を記し で記し で記し で記し で記し で記し で記し で記し で | 合) |
| 要一分 精 自動制御 一 新生器可分带 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アング 映板製 1)排標といる。 第個 では、 | 室 法 ○○操 | 図クト ボースで (リリー) マー〇〇配 (リー〇〇配) では、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のででは、大式本 のでは、大式、大 では、大力ででは、大力ででは、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、 | 最大 一式 一式 イの電と 一式 イの ・対域 ・対域 | m ² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の | 式 ヾ 王 ヒ - / ヒ重ニ - F で A は F | 合) |
| 要一没 備 自動制御 衛生器可投備 恰 水 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アング 映板製 1)排標といる。 第個 では、 | 室 法 ○○操 | 図ク 製 x ((り) | 最大 一式 一式 イの電と 一式 イの ・対域 ・対域 | m ² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の | 式 ヾ 王 ヒ - / ヒ重ニ - F で A は F | 合) |
| 型 设 備 自動制御 衛生器具設備 給 水 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 ○事務 ○高圧1ダクト ○アングルフランジエ ○アング 映板製 1)排標といる。 第個 では、 | 室 法 ○○ 操 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 図クク製ェ(でり) マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇配 マー〇〇 では、 | 最大 一式 一式 イの 一式 イの < | m ² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の | 式 ヾ E L - / L = - / L = - / L = - / L = - / L = - / E = - / | 合) |
| 煙 设 備 自動制卸 衛生器具設備 給水 設 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 | 室 法 ○○○操 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 図クク製ェ(でり の で | (G) 日本 (G) 日本<td>m² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の</td><td>式 ヾ E L - / L M T を A は</td><td>合)</td> | m ² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の | 式 ヾ E L - / L M T を A は | 合) |
| 排煙 設備 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 | 室 法 ○○○操 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 図クク製ェ(でり の で) 型 。び 鋼SHイン 鋼SエンHイン 鋼Sエー | (G) 日本 (G) 日本<td>m² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の</td><td>式 ヾ E L - / L M T を A は</td><td>合)</td> | m ² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の | 式 ヾ E L - / L M T を A は | 合) |
| 煙 设 備 自動制卸 衛生器具設備 給水 設 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 | 室 法 ○○○操 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 図クク製ェ(でり の で | (G) 日本 (G) 日本<td>m² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の</td><td>ポロ复記 ・</td><td>合)</td> | m ² O O O の の の の の の の の の の の の の の の の | ポロ复記 ・ | 合) |
| 要 没 備 自動制御 新生器具设備 給水 設 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○廊下 | 室 法 ○○○操 | 図クク製ェ(でり の で) 型 。び 鋼SHイン 鋼SエンHイン 鋼Sエー | している (G) A (C) | m ² OOOの P R M M M M M M M M M M M M | 式 ヾ 王 ヒ - / ヒ重ニ - / ヒ重 - / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 合) |
| 要一设 備 自動制御 一 衛生器具设備 一 一 給 水 设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの材料 ○がクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○内側部水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配図面特記部分は除く) | ○廊下 | 室 法 ○○○操 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 図ク 製ェ(でり | している (G) A (C) | m ² OOOの P R M M M M M M M M M M M M | 式 ヾ 王 ヒ - / ヒ重ニ - / ヒ重 - / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 合) |
| 要一受情報 自動制御 一 新生器具 受情 | ○ダクトの種別 ○ダクトの工法 ○ダクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 | ○原下 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○ ○ ○ ○ | 室 法 ○○○操 | 図ク 製ェ(でり | は、 | m ² OOOの P R M M M M M M M M M M M M | 式 ヾ 王 ヒ - / ヒ重ニ - / ヒ重 - / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 合) |
| 要一设 備 自動制御 一 衛生器具设備 一 一 給 水 设 | ○ダクトの種別 ○ダクトの材料 ○がクトの材料 ○排煙口 ○保温 ○小便器用節水装置 ○内側部水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ○身障者用器具 ●給水方式 ●配図面特記部分は除く) | ○原下 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○事務 ○ ○ ○ ○ | 室 法 ○○○操 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 図ク 製ェ(でり | は、 | m ² OOOの P R M M M M M M M M M M M M | 式 ヾ 王 ヒ - / ヒ重ニ - / ヒ重 - / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 合) |

| ● 本格社 | | | l #± | 司 車 荷 |
|---|--|--|---|--|
| のステンリス製 | 章 | 項目 | | |
| の | | ●水柱柱 | | 0 x 7 0 x 1 3 0 0 H) |
| # 日本の理由深さ 1 一般 整性 | | | |) |
| ### ●の思想変さ | 給 | | | • |
| ● 回入金・角配金 | | ● /# | | |
| 型加入金・負担金 ●元章 ○必要 ○外達工事 ○の公司 ○ | 水 | ●官の理設深さ | | |
| 個別大会・負担金 ●不要 ○必要 (※対象 ○本工事) ○公正文章 ○本不明 ○大田 ○公正文章 ○大田 ○公正文章 ○小田 ○公正文章 ○公正公章 ○公正公章 ○公正公章 ○公正公章 ○公正公章 ○○公正文章 ○○ | | | | |
| ● | 設 | 0.10.7.0.0.0.10.0 | | |
| ●排水方式 | | | | 途 〇本工事) |
| 売水・複雑水に商水(屋外) ●分談式 | 備 | 〇本管引込工事 | │※本工事 ○別途工事 | |
| | | | | |
| ### ### ### ######################### | | ●排水方式 | 汚水と雑排水 [屋内] | 〇分流式 〇合流式 |
| 対象 | | | 汚水・雑排水と雨水[屋外] | ●分流式 ○合流式 |
| # 請求 | | | ポンプ排水 | ●有り(〇雑排水 〇汚水 〇浄化槽 2 次側) ○なし |
| # 請求 | | | | |
| # (回海体部 | | 〇放流式 | 汚水 | ○直放流下水管 ○浄化槽 ○ |
| ●配管材料 (図画特記部分は除く) ■ | | | 雑排水 | 〇直放流下水管 〇浄化槽 〇別途桝・側溝 |
| ### ●配数材料 (図画特記部がは降く) 日内端排水管 (図画外に20分割で (Se PW) (Os Like OMD ジョイントによる接合 ●ビール像 (VP) O耐火ニ層管 O の新生 (Se PW) (Os Like OMD ジョイントによる接合 ●ビール像 (VP) O耐火ニ層管 O の形 水用底ビライニング間管 ORF-VP O耐火ニ層管 O ORF-VP O耐火ニ層管 O ORF-VP O耐火ニ層で ORF-VP O財火ニ層で OPサイクル延青ボリ塩化ビール素治三層管 (RF-VP) Oサイクル延青ボリ塩化ビールを (REP-VU) Oリサイクル延青ボリ塩化ビールを (REP-VU) Oリカイクル延青ボリ塩化ビールを (REP-VU) Oリカイクル延青ボリカに (REP-VU) Oリカイルボリカンフランと (REP-VU) Oリカイル延青ボリカに (REP-VU) Oリカイル (REP-VU) ON (REP | | | 雨水ポンプアップ | |
| (図面特記部がは除く) | | | 湧水ポンプアップ | 〇直放流下水管 〇雨水側溝 〇雨水桝 |
| ●ビニルモ (VP) | 排 | ●配管材料 | 屋内雑排水管 | 〇排水用塩ビライニング鋼管 |
| 図内汚水排水管 回内汚水排水管 回内汚水排水管 回下・VP ○日本・N音 (VP) ○ | | (図面特記部分は除く) | | 〇鋼管(SGPW)(〇ねじ接合 OMDジョイントによる接合 |
| 歴内汚水排水管 | | | | ●ビニル管(VP) |
| ●ピニル管(VP) ORF-VP ORF-VP ORF-VP ORF-VP ORF-MET O ORF-VP ORF-VP ORF-MET O ORF-VP ORF-MET O ORF-VP ORF-MET O ORF-VP ORF-MET O ORF-VP ORF-MET ORF-MET ORF-VP ORF-MET OR | | | | 〇耐火二層管 |
| 及 | | | 屋内汚水排水管 | 〇排水用塩ビライニング鋼管 |
| 水 | | | | ●ビニル管(VP) ORF-VP |
| ②気管 | | | | ○耐火二層管 |
| 設置 | 7k | | | |
| ● 世・川春(VP) ● 日・川春(VP) ● 日・川春(VP) ● 日・川春(VP) ● 日・川春(VP) ○ 日本・川春(VP) ○ 日本・日本・レーン 日本・レーン 日 | \J\ | | 通気管 | 〇リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) |
| 世上ル暦 (VP) | | | | O鋼管(SGPW) (Oねじ接合 OMDジョイントによる接合 |
| ○日本・日本 | | | | |
| 地中配管 [屋内] | | | | |
| 世中配管 [屋内] | | | | |
| 説 | | | 地中配管「屋内」 | |
| 世に元帝(VP) | _ | | | |
| ●ピニル管 (VP) ○ピニル管 (VU) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | 設 | | | |
| 地中配管 [屋外] | | | | |
| ### ### ############################# | | | | |
| ● ロール管(マ) | | | | - |
| ● ピニル管 (VP) Oピニル管 (VP) ● 耐熱性塩ピライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA (地中配管はSGP-VD、SGP-FVD) とし、継手はフランジ又はハウジング形雑手と 7-5。 | | | 70 7 10 11 12 77 3 | |
| (機) | | | | |
| 備 | | | | |
| (地中配管はSGP-VD、SGP-FVD)とし、継手はフランジ又はハウジング形線手とする。 | 備 | | 鋼管類のポンプアップ排水 | |
| する。 | | | | |
| ○資本試験維手 ○必要(図示箇所に取付ける) ○不要 ○負担金 ○不要 ○必要(〇別途 ○本工事) ●和島力式 ●動成力式 ●の配付料 ○月ンスジンス側管 ○又以は保理設をする場合は、保温付核覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンス網管 ○以は保理設をする場合は、保温付核覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンス網管 ○の配管(壁又は床埋設をする場合は、保温付核覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンス網管 ○原法付き被覆鋼管 ○保温 ガス湯沸器の排気間の隠藏筋所の保温は、標準性操書第2編3、1、5の表2、3、5による。 ○海人設備 ○原治法とロシークの機器をはける。 ○海大灯 ○の直内消火栓 ○スプリンクラー・ ○カ海火栓箱には、消火ボンブ運転表示灯取付用口を設ける。 ○の配管用炭素鋼管(白) ○日間特別が大り、 ○配管用炭素鋼管(白) ○原子が、の施工する(膨張タンクによる) ○保温 消火用充水タンタの保温を良内震出を同保温を良内保温を良力による(膨張タンクによる) ○施工しない の施工する(膨張タンクによる) ○保温を良力とない。 ○施工しない の施工する(膨張タンクによる) ○施工しない の施工する(膨胀を) ○保護費の保温を良力とない。 ○施工しない の施工する(膨胀を)の保温性様に挙する) ○施工しない の施工する(膨胀を) ○ガスの機器 ○の水ではない の施工する(膨胀を)の保温性様に挙する) ○原工する(膨胀を) ○ガスター ○原本のの原温を良力はない の施工する(膨胀を)の保温性様に挙する) ○原式 のの原温性様に挙する(膨大を)の原式 のが上ない の施工する(膨胀を)の保温をしまれたのの原型は対しない の施工する(膨胀を) がスメーター ○原内外地中配管 ○原内外地中配管 ○の配管用炭素鋼鋼管(白)の原数 のに対しままする(上ではない のに対しない | | | | (さな! ・ いち/ とも(神経) はい リンクスは ・・ ノンク / //神経) と |
| ○負担金 ○不要 ○必要(○別途 ○本工事) ○本管接続工事 ○本工事 ○別途工事 ● 台級カカ式 ○中央式 ●房部式 ○の間管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○ の間管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンレス鋼管 ○開生付き被覆鋼管 ●架橋ボリエチレン管 カス湯沸器の排気筒の隠巌箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。 ○ (保温 | | ○満水試驗継手 | | る) ○不要 |
| ○本管接続工事 | | | | |
| ○本管接続工事 ○本工事 ○別途工事 ●給湯方式 ○中央式 ●局部式 ○知管(壁又は味煙酸をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンレス鋼管 ○耐熱性はピライニング鋼管 ○母標清パリエチレン管 ○所次とはピライニング鋼管 ○母標清パリエチレン管 ○消火設備の種類 ○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○海海火 ○不活性ガス消火() ○連結送水管 ○表示灯 ○原内消火栓 ○スプリンクラー ○海海火 ○不活性ガス消火() ○ ○表示灯 ○配管用放棄鋼管(白) ○原田内海外性用口を設ける ○日本の管理検索鋼管(白) ○原内消火権福には、消火ポンブ運転表示灯取付用口を設ける ○日本の管用放棄鋼管(自) ○原本工事(図面特記部分は除く) ○施工しない ○施工する(膨張を) ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工しない ○施工もる(総水管の保温性様に準する) ○保温 消火用売水タンクの保温を ○施工しない ○施工もる(総水管の保温性様に準する) ○施工しない ○施工する(総水管の保温性様に準する) ○ガスの種類 ○都市ガス (会験量 ○45,000kJ/n m³ ○ KJ/n m² → 区域化石油ガス (今50kg 本立) ○アルイン・アナーター ○度与品 対域を) ○ガスメーター ・一般配管 ○財力式 (回路表式 ○バルス式) ○日本立) ○ガスメーター ・一般配管 ○財力 (の対域を) ・本立) ○アメーター ・一般配管 ○財力 (の対域を) ・カンリースは、供給を) ○の応替材料 ・一般配管 ○アメーター ○原体を) ・カンリースは、供給・でのは、サンドでは、サンドでを) ○日本の (の対域を) ・・カンドン・アナン・アナン・アナン・アナン・アナン・アナン・アナン・アナン・アナン・アナ | | ○負担全 | 〇不要 〇必要(〇 | 別途 ○太丁惠) |
| ●給湯方式 | | | | |
| ●配管材料 | | | - 1 1 | |
| □ ステンレス側管 ○ 日藤性塩ビライニング鋼管 ○ 日藤竹塩ビライニング鋼管 ○ 保温付き被種鋼管 ● 架橋ボリエテレン管 ● スプリンクラー ○ カス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 5の表2. 3. 5による。 ○ 月水設備の種類 ○ ステン スプリンクラー ○ カス湯水と の本活性ガス消火 () の連結送水管 ○ 日曜 日本 | 給 | | | る場合は、保温付被覆銅管を使用してもよい。) |
| 議 | 4.PT | | | o significant production of the control of the cont |
| ②保温付き被覆網管 ②保温 | 湯 | | | 管 |
| ● 架橋ボリエチレン管 | | | | - |
| ## | 設 | | | |
| ○ | / # | | | |
| ○表示灯 | ᄱ | 〇保温 | | 所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。 |
| ○ 表示灯 | 1/用 | 〇保温 | | 所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。 |
| 消 ○表示灯 図面清火柱箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける ○配管材料 ○配管材料 ○配管用炭素鋼管 (白) ○配管材料 ○原理内外地中配管 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS) ○保温 消火用充水タンタの保温を 消火用呼水ダンクの保温を 高火無出管の保温を 巨内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準する) がカスの種類 ○都市ガス ○液化石油ガス (発熱量 ○液化石油ガス ○45,000kJ/N ○放工する (給水管の保温仕様に準する) のガスメーター マメーター ○質与品 ・計量方式 ・図面特記部分は除く) ○第入 ○日東入 ○日東入 ○日東入 ○日東入 ○日東入 ○日東大 ○日東大 ○日東大 ○日東大 ○日東大 ○日東大 ○日東大 ○日東大 | 1 /⊞ | | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 | |
| 消水 ○表示灯 屋内消火栓箱には、消火ボンブ運転表示灯取付用口を設ける。 ○配管材料 ○配管用炭素鋼管 (白) ○区面特記部分は除く) ○原工力配管用炭素鋼管 (白) ○保温 消水用充水タンクの保温を 消火用呼水ダンクの保温を 同外監管の保温を 屋内露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準する) ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準する) ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準する) ○がん石油ガス (〇50kg 本立) びガスター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | VHI | | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇 | スプリンクラー |
| 人 ○配管材料 (図面特記部分は除く) 一般配管 ○圧力配管用炭素鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼管(白) ○原工力配管用炭素鋼管(ら) ○原工力では、 ○施工力では、 ○施工しない。 ○施工しない。 ○施工力では、 ○をは力工力では、 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○財力の保温を ○がルス式) ○財力の保温では、 ○のでは力の保温では、 ○のでは、 ○のでは、 ○のでは、 ○のででは、 ○のででは、 ○のででは、 ○のでは、 ○のでは、 ○のでは、 ○のでは、 ○のででは、 ○のでは、 ○ | NH. | | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇 〇泡消火 〇 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () |
| 火 (図面特記部分は除く) 度内外地中配管 〇外面被覆鋼管 (SGP-VS) 〇保温 消火用元水タンクの保温を 消火用元水タンクの保温を 消火用所水タンクの保温を 所強出管の保温を 屋外露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を 〇施エしない 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準する) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準する) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温性様に準する) 〇施エしない 〇施エする (総務・管の保温性様に準する) 〇施エしない 〇施エしない 〇施エする (総水管の保温性様に準する) 〇施エしない 〇施エしない 〇施エする (総水管の保温性様に準する) 〇施エしない 〇をの作品性様に準する) 〇型・〇型・「大力・「大力・「大力・「大力・「大力・「大力・「大力・「大力・「大力・「大力 | | ○消火設備の種類 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇 〇泡消火 〇 〇連結送水管 〇 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () |
| 設 屋内外地中配管 〇外面被覆鋼管(SGP-VS) 消火用充水タンタの保温を 消火用呼が多ンクの保温を 消火用呼が多ンクの保温を 同所露出管の保温を 反内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) がましない 〇施エしない 〇施エする(総水管の保温仕様に準ずる) のがエしない 〇施エする(総水管の保温仕様に準ずる) のがエしない ○施エしない 〇施エする(総水管の保温仕様に準ずる) のがエしない ○施エする(総水管の保温仕様に準ずる) のがエしない ○施エする(総水管の保温仕様に準ずる) のがエしない ○施エする(総殊を)の施工しない ○施エする(総殊を)の ※国上ない ○施エする(総殊を)の ※国上ない ○施エする(総殊を)のによる(会球での保温性様に準する) のガスメーター ・一般配管 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、供給者仕様による。 ・「のおでは、は、は給者仕様による。 ・「のおでは、は、は給者仕様による。 ・「のおでは、は、は給者仕様による。 ・「のおでは、は、は給者仕様による。 ・「のおでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | | ○消火設備の種類 ○表示灯 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇 〇泡消火 〇 〇連結送水管 〇 屋内消火栓箱には、消火ポ | スプリンクラー 不活性ガス消火 ()) ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| 設 回外地中配管 〇外面被覆鋼管(SGP-VS) 前火用充水タンクの保温を 消火用呼水タンクの保温を 入施工しない ○施工しない の施工しない ○施工しない の施工する(総水管の保温仕様に準ずる) 反外露出管の保温を 医内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を 〇施工しない 〇施工しない 〇施工しない 〇施工しない 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない 〇施工しない 〇施工しない 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) のガスの種類 〇ガスメーター 子メーター 〇技術工チンク 〇財子 〇財子 〇配管材料 〇回監管用炭素鋼銀管 〇ロ管用炭素鋼銀管 〇カズ用ポリエチレン管 〇ロがカスーメーシーン 〇型がエチレン被覆鋼管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ロがカスージエ法 〇月担金 〇本で接続工事 〇ながエチレン被覆鋼管 〇ガス用ポリエチレン管 〇の本工事) 〇ボリエチレンを 〇を管工法 〇ピット内施工法 〇角担金 〇本で接続工事 〇本ジエ法 〇内金 〇PE管工法 〇中工事) ②本管接続工事 〇本工事 〇水で表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表 | 消 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) |
| 設備 消火用充水タンクの保温を 消火用呼水ダンクの保温を 資外露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を 〇施エしない 〇施エしない 〇施エしない 〇施エしない 〇施エしない 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エは 〇道与品 計量方式 〇宣島式 〇ブルス式) 〇日管 用炭素鋼銀管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレンで管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレンで管 のが変接工法 〇負担金 〇本で管続工事 〇世中埋設管の接合法 〇ピット内施工法 〇負担金 〇本で管続工事 〇多GM工法 〇本要 〇本要 〇本工事 〇本工事 〇本工事 〇本工事 〇本工事 〇本工事 〇本工事 〇ガーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | 消 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) |
| (株別 | 消 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 ○屋内消火栓 ○○泡消火 ○連結送水管 ○屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) |
| 備 屋外露出管の保温を 屋内露出管の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温性を ・ 本立) がカスター 日報と 〇記管材料 〇記管材料 〇記管用炭素銅銀管(白) 〇プス用ポリエチレン被覆鋼管 〇ガス用ポリエチレンで 〇プス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇がカスーポリエチレン管 〇がカスーポリエチレン管 〇のをできる。 〇世中理設管の接合法 〇宮傍田工法 〇自担金 〇本で接続工事 〇本工事 〇別途工事 砂塩の本工事 〇水町工法 〇自担金 〇本工事 〇別金工事 〇が一カッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | 消火 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 屋内外地中配管 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) 〇 〇外面被覆鋼管 (SGP-VS) |
| 屋内露出管の保温を | 消火 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 屋内外地中配管 消火用充水タンタの保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) 〇外面被覆鋼管 (SGP-VS) 〇施工する (膨張タンクによる) 〇施工しない |
| ドレンチ内の保温を 〇施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) の方スの種類 〇都市ガス (発熱量 〇45,000kJ/N m³ 〇 kJ/N m³ O kJ/N m | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 ○連結送水管 区内消火栓箱には、消火ポー般配管 「中般配管を対火用充水タンクの保温を消火用呼水タンクの保温を消火用呼水タンクの保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| ガ 〇ガスの種類 〇都市ガス (発熱量 〇45,000kJ/N m³ 〇 kJ/N m³ 八 次化石油ガス (〇50kg 本立) KJ/N m³ 八 本立) ガ 一般 ス (〇重 大 一 大 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 ○屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管 区内消火栓箱には、消火ポー般配管 屋内外地中配管 「ル用充水タンクの保温を消火用所水タンクの保温を消火用呼水タンクの保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇外面被覆鋼管(SGP-VS) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施エする(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施エする(総水管の保温仕様に準ずる) |
| ガ 〇液化石油ガス (〇50kg 本立 〇20kg 本立) ガスメーター 親メーター 〇貫与品 〇購入 〇賞与品 計量方式 (〇直読式 〇パルス式) 〇配管材料 (図面特記部分は除く) 一般配管 〇配管用炭素鋼銀管 (白) 〇 屋内外地中配管 〇ポイエチレン被覆鋼管 〇ガス用ポリエチレン管 〇 がカス用ポリエチレン管 〇カス用ポリエチレン管 〇カス 開発 〇ペット内施工法 〇音担金 〇不要 〇必要 (〇別途 〇本工事) 〇世中埋設管の接合法 〇ネジエ法 〇月担金 〇不要 〇必要 (〇別途 〇本工事) 〇本工事 〇別途工事 〇古川工法 〇十二年護管 深度 () m 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用デボタンクの保温を 原外露出管の保温を 屋内露出管の保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇外面被覆鋼管(SGP-VS) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施エする(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) |
| ガ 〇液化石油ガス (〇50kg 本立 〇20kg 本立) ガスメーター 親メーター 〇貫与品 ○購入 〇賞与品 計量方式 (〇直読式 〇パルス式) 〇配管材料 (図面特記部分は除く) 一般配管 〇配管用炭素鋼銀管 白) 〇屋内外地中配管 〇ポイエチレン被覆鋼管 〇ガス用ポリエチレン管 〇カス用ポリエチレン管 〇カス用ポリエチレン管 〇カス甲ポリエチレン管 〇カス甲ポリエチレン管 〇名接工法 〇ピット内施工法 〇溶接工法 〇月担金 〇不要 〇必要 (〇別途 〇本工事) 〇世中埋設管の接合法 〇ネジエ法 〇ア E管工法 〇月金 〇本要 〇必要 (〇別途 〇本工事) 〇本本事 〇別途工事 〇週間工法 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 屋内外地中配管 消火用充水タンクの保温を 消火用デボタンクの保温を 原外露出管の保温を 屋内露出管の保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇外面被覆鋼管(SGP-VS) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施エする(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする(給水管の保温仕様に準ずる) |
| ガ 初スメーター 〇貸与品 〇購入 〇貸与品 計量方式 (〇直読式 〇パルス式) 〇配管材料 (図面特記部分は除く) 一般配管 〇配管用炭素銅銀管 (白) 〇 | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 「水田・一般配管 「水田・一般でする。」では、水水・一般ででは、水水・一般ででは、水水・水の保温を増大の保温を屋内の保温を上し、カーの保温をトレンチ内の保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇 |
| ガ 子メーター | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 「水田・一般配管 「水田・一般でを消火用がある。」を発出をの保温を上し、チ内の保温を上し、チ内の保温をトレンチ内の保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇 |
| ガ 子メーター ○購入 ○貸与品 計量方式 (○直読式 ○パルス式) ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 「水田・一般配管 「水田・一般でを消火用がある。」を発出をの保温を上し、チ内の保温を上し、チ内の保温をトレンチ内の保温を | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける O配管用炭素鋼管(白) O圧力配管用炭素鋼管(白) O O外面被覆鋼管(SGP-VS) O施工する(膨張タンクによる) O施工しない O施 |
| 日本 日 | 消火設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓 一般配管 「水水を変え、水水・一般配管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇が面被覆鋼管(SGP-VS) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) |
| ス 〇配管材料 (図面特記部分は除く) 一般配管 ○配管用炭素銅鋼管(白) 〇ポリエチレン被覆鋼管 設力ス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇ガス用ポリエチレンで 〇次接工法 〇日少ト内施工法 〇月担金 〇木要 〇本管接続工事 〇本の本工事) 〇本で接続工事 〇本門工法 〇九口保護管 〇パーカッション式 深度 () m 〇ロータリー式 深度 () m 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | 消火設備 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓 一般配管 「水水を変え、水水・一般配管 「水水を変え、水水・一般ででは、、水水・一般の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力が露出での保温を大力が露出でいる。 (○5 親メーター | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇 |
| ス (図面特記部分は除く) ○ ○ ○ ②ボゲエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ がカスの場合は、供給者仕様による。 (個 ○ | 消火設備 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓 一般配管 「水水を変え、水水・一般配管 「水水を変え、水水・一般ででは、、水水・一般の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力の保温を大力が露出での保温を大力が露出でいる。 (○5 親メーター | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇 |
| 設 屋内外地中配管 〇ポイエチレン被覆鋼管 のガス用ポリエチレン管 〇ガス用ポリエチレン管 の地中埋設管の接合法 〇SGM工法 〇PE管工法 〇ピット内施工法 〇溶接工法 〇の要(〇別途 〇本工事) 〇負担金 〇不要 〇必要(〇別途 〇本工事) 〇本管接続工事 〇ポーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 設さ 備く 〇孔口保護管 次度 () m | 消火設備 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓 一般配管 バルルの連結送水管 屋内外地中配管 バル用呼があるの保温を ドルルの保温を 屋内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を スクの保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を スクの保温を スクの保温を スクの保温を スクの保温を スクークークを スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇が面被覆鋼管(SGP-VS) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) |
| 設 さ () | 消火設備が | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火 〇連結送水管 屋内消火栓 一般配管 バルルの連結送水管 屋内外地中配管 バル用呼があるの保温を ドルルの保温を 屋内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を スクの保温を トレンチ内の保温を トレンチ内の保温を スクの保温を スクの保温を スクの保温を スクの保温を スクークークを スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク・スクーク | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇が面被覆鋼管(SGP-VS) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇前五 〇前五 〇間五 〇間五 〇間五 〇間五 〇間五 〇間五 〇間五 〇月八八ス式) 〇配管用炭素鋼鋼管(白) |
| 設備 〇地中埋設管の接合法 〇SGM工法 〇ネジエ法 〇PE管工法 〇ピット内施工法 〇溶接工法 〇の溶接工法 〇負担金 〇不要 〇必要(〇別途 〇本工事) 〇本管接続工事 〇本工事 〇別途工事 砂臓 〇ボーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 備く 〇孔口保護管 次度 () m | 消火設備が | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 一般配管 バルルの連結送水管 屋内が地中配管 バルルののは、消火ポートののは、水水ののは、水水ののは、水水ののは、水水のは、水水のは、水水のは、水水 | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) 〇 の施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準ずる) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準する) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準する) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準する) 〇施工しない 〇施工する(給水管の保温付養に準する) 〇施工する(協水管の保温付養に準する) 〇施工しない 〇施工しない 〇施工は、〇施工は、○一般である(協水管の保温付養に準する) 〇施工は、○一般である(協水管の保温付養に準する) 〇施工は、○一般である(協水管の保温付養に準する) 〇施工は、○一般である(協水管の保温付養に対する) 〇施工は、○一般である(協水管の保温付養に準する) 〇施工は、○一般である(協水管の保温付養に対する) 〇藤田は、○一般である(協水管の保証が、○一般である(協水管の保証が、○一般である(協水管の保証が、○一般である(協水管の保証が、○一般である(協水管の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体の体 |
| 備 | 消火設備が | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 一般配管 バルルの連結送水管 屋内が地中配管 バルルののは、消火ポートののは、水水ののは、水水ののは、水水ののは、水水のは、水水のは、水水のは、水水 | スプリンクラー 不活性ガス消火() フプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇 0 0 0 0 kJ/N m³ 〇 KJ/N m³ 〇 kg 本立 〇 2 0 kg 本立) 〇貸与品 〇購入 〇貸与品 計量方式 (〇直読式 〇パルス式) 〇配管用炭素鋼銀管(白) 〇 のポリエチレン被覆鋼管 |
| 備 ○地中埋設管の接合法 ○SGM工法 ○Aジエ法 ○PE管工法 ○ピット内施工法 ○溶接工法 ○負担金 ○不要 ○必要(○別途 ○本工事) ○本管接続工事 ○本工事 ○別途工事 砂臓 さ ○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式 備 く ○孔口保護管 深度 () m | 消 火 設 備 ガ ス | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 一般配管 バルルの連結送水管 屋内が地中配管 バルルののは、消火ポートののは、水水ののは、水水ののは、水水ののは、水水のは、水水のは、水水のは、水水 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) 〇が面被覆鋼管 (SGP-VS) 〇施工する (膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する (齢張タンクによる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エする (給水管の保温仕様に準ずる) 〇族エしない 〇施エする (給水管の保温仕様に準ずる) 〇族コース (名) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |
| 〇ピット内施工法 〇溶接工法 〇負担金 〇不要 〇必要(〇別途 〇本工事) 〇本管接続工事 〇本工事 〇別途工事 砂臓 さ 〇掘削工法 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 一般配管 消火栓箱には、消火ポー般配管 消火性和充水タンクの保温を アルカーのでは温をををを対した。 「一般の保温をををできません。「一般のでは温をををできません。」 「一般のでは温ををををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは、一般のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) 〇施工する (膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施エカる (給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施エしない 〇施エカる (給水管の保温仕様に準ずる) 量 〇45,000kJ/N の |
| 〇ピット内施工法 〇溶接工法 〇負担金 〇不要 〇必要(〇別途 〇本工事) 〇本管接続工事 〇本工事 〇別途工事 砂臓 さ 〇掘削工法 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 一般配管 消火栓箱には、消火ポー般配管 消火性和充水タンクの保温を アルカーのでは温をををを対した。 「一般の保温をををできません。「一般のでは温をををできません。」 「一般のでは温ををををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは、一般のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが | スプリンクラー 不活性ガス消火() フプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇 |
| 〇ピット内施工法 〇溶接工法 〇負担金 〇不要 〇必要(〇別途 〇本工事) 〇本管接続工事 〇本工事 〇別途工事 設さ 〇掘削工法 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 深度 () m | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 一般配管 消火栓箱には、消火ポー般配管 消火性和充水タンクの保温を アルカーのでは温をををを対した。 「一般の保温をををできません。「一般のでは温をををできません。」 「一般のでは温ををををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは温をををした。」 「一般のでは、一般のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが | スプリンクラー 不活性ガス消火() フプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇 |
| 〇負担金 〇不要 〇必要(〇別途 〇本工事) 〇本管接続工事 〇本工事 〇別途工事 〇週間工法 〇パーカッション式 〇ロータリー式 〇ダウンザホールハンマー式 一次度 () m | 消火設備がカス設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 バルルの連結送水管 屋内外地中配管 バル用呼管の保温温を 屋内外地内の保温を トレンチカの保温を トレンチカス 「一般配管を展出をを トレンチーター ー般配管 屋内外地中配管 を発熱 「一般配管を 屋内外地中配管を を発熱 「一般配管を を発熱を を発熱を を発熱を を発熱を を発熱を を発熱を には、消火ポーター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | スプリンクラー 不活性ガス消火() フプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇がエリない 〇がエする(船水管の保温仕様に準ずる) 〇がエリない 〇がエする(船水管の保温仕様に準ずる) 〇がカースーのでは、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間に |
| O本管接続工事 〇本工事 〇別途工事 役 さ | 消火設備がカス設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 「大水管」 「大水管」 「大水管」 「大水管」 「大水管」 「大水管」 「大水ででの保温をををををををををををををををををををできませる。 「大水水ででの保温をををををををををををををををををををををををををををををした。」 「大水水ででのないでは、大水ができません。」 「大水水ででは、水水では、大水では、大水では、大水では、大水では、大水では、大水で | スプリンクラー 不活性ガス消火() フプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管(白) 〇圧力配管用炭素鋼管(白) 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施工しない 〇施エしない 〇施工する(膨張タンクによる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇施エしない 〇施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 〇がエリない 〇がエする(船水管の保温仕様に準ずる) 〇がエリない 〇がエする(船水管の保温仕様に準ずる) 〇がカースーのでは、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間には、〇間に |
| 役 さ | 消火設備がカス設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中埋設管の接合法 ○ピット内施工法 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内外地中配管 バルルのでは、消火ポートを 「カールのでは、消火がでの保温をを 「カールのでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一くのでは、は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 〇配管用炭素鋼管 (白) 〇圧力配管用炭素鋼管 (白) 〇 () 〇施工する (()) 〇施工する (()) 〇施工しない () () () () () () () () () (|
| 成で O孔口保護管 深度 () m | 消火設備がス設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中埋設をの接合法 ○ピット内施工法 ○負担金 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 消火性箱には、消火ポートを関係の限力を 「カールのでは、消火がでの保温をををををををををををををををををををををををををををををををををををを | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 ○配管用炭素鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼管(白) ○外面被覆鋼管(SGP-VS) ○施工する(膨張タンクによる) ○施工しない ○施工しない ○施工する(膨張タンクによる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 量 ○45,000kJ/N m³ ○ kJ/N m³ ○ kJ/N m³ ○ な立 ○20kg 本立 ○位請入 ○日請入 ○日請入 ○日請入 ○日前入 ○日前入 ○日前入 ○日前入 ○日前入 ○日前入 ○日前入 ○日前 |
| 成で O孔口保護管 深度 () m | 消火設備がス設 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中埋設をの接合法 ○ピット内施工法 ○負担金 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 〇屋内消火栓 〇泡消火栓 〇泡連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓 「砂連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 消火性箱には、消火ポートを関係の限力を 「カールのでは、消火がでの保温をををををををををををををををををををををををををををををををををををを | スプリンクラー 不活性ガス消火() ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 ○配管用炭素鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼管(白) ○外面被覆鋼管(SGP-VS) ○施工する(膨張タンクによる) ○施工しない ○施工しない ○施工する(膨張タンクによる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ○施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) ② 0 を |
| | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中埋設管の接合法 ○ピット内施工 ○負担金 ○本管接続工事 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 ○屋内消火栓 ○○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○●連結送水管 屋内外地中配管 消火水質の保保温をを 「カールの場合は、消火がでの保保温をを 「カールの場合は、消火がでの保に温をを 「カールの場合は、消火がです。」 「カールの場合は、供給者 「カールの場合は、は、データー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| ・ | 消火設備 ガス設備 2000 1200 1200 1200 1200 1200 1200 120 | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中 中央 の関連 の地中 の関 の地中 の関 の地中 の関 の表 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇 ○屋内消火栓 ○○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内外用配管 消火栓 の連結送水管 屋内外用のの場合 の保保温をを を屋上のの保に温をを を屋上のの保に温を を屋上のの保に温をを といった。 のおまるのは、供給者 のないまるのは、は、の本がエスの場合は、は、の本がエスの場合は、は、のの場合は、が、のの場合は、は、が、のでは、は、が、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、は、は、 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管特記部分は除く) ○地中ターの形式 ○負担管接続工事 ○掘り口の本 ○に選挙を表して、 ○は、の表と、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽筒 ○屋内消火栓 ○○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内・水水管 屋内・水水での連続では、消火水での水が、水の水の水が、水の水の水が、水の水の水が、水の水の水が、水の水の水が、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、 | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管特記部分は除く) ○地中ターの形式 ○負担管接続工事 ○掘り口の本 ○に選挙を表して、 ○は、の表と、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽筒 ○屋内消火栓 ○○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内・水水管 屋内・水水での連続では、消火水での水が、水の水の保温ををををできるのには、水がでのには、水がでのは、水がでのは、水がでのには、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がで | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管特記部分は除く) ○地中ターの形式 ○負担管接続工事 ○掘り口の本 ○に選挙を表して、 ○は、の表と、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽筒 ○屋内消火栓 ○○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内・水水管 屋内・水水での連続では、消火水での水が、水の水の保温ををををできるのには、水がでのには、水がでのは、水がでのは、水がでのには、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がで | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |
| | | ○消火設備の種類 ○表示灯 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○ガスの種類 ○ガスメーター ○配管特記部分は除く) ○地中ターの形式 ○負担管接続工事 ○掘り口の本 ○に選挙を表して、 ○は、の表と、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 ○は、のまと、 | ガス湯沸器の排気筒の隠蔽筒 ○屋内消火栓 ○○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内消火栓 ○連結送水管 屋内・水水管 屋内・水水での連続では、消火水での水が、水の水の保温ををををできるのには、水がでのには、水がでのは、水がでのは、水がでのには、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がでは、水がで | スプリンクラー 不活性ガス消火 () ンプ運転表示灯取付用口を設ける。 |

| 章 | 項 | 目 | | 特 | 記 | 事 | 項 | |
|---------------|--------------|---|---------------------------------|-----------------------------|-----|---------|--------|--|
| 井設備地中熱交換 | 〇掘削工法 | | ○回転振動式 ○ロータリーパー | 〇ロータ [†] カッション式 | ノー式 | ○ダウンザホー | ルハンマー式 | |
| 設 厨房 備器 | | | 安全装置の適用は | 図面による。 | | | | |
| 浄化槽設備 | 〇形式 〇処理方法 | | 〇ユニット形 〇小規模合併処理 〇合併処理(別紙を | | | | | |
| 設療ガス | | | ※図面による。 | | | | | |

| 1/100 | _ | | 図 番 |
|--------------|---|---------------------|----------|
| | _ | ^事 | No. M-02 |
| Ver. H29. 04 | | 図 機械設備工事特記仕様書 No. 2 | 09 |



衛生設備機器リスト

| | 1 | T | | | ı | T | |
|------|-------------|--|-------|------------------|--------------|------|---------------|
| | b; 14- | 14k PP (1, 14* | | 動力 | -1. 奥坦士 | /*L | I# #z |
| 記号 | 名称 | 機器仕様 | 電圧 | 電気容量(kW) 消費電力 | 設置場所 | 台数 | 備考 |
| EH-1 | 自然冷媒ヒートポンプ | 形 式 角型 460L | | | LDK・UB・洗面室 | 1 | SRT-S463 |
| | 給湯器(エコキュート) | 加 熱 能 力 (冬期高温) 6.00 kW | 1 200 | (凍防ヒーター) 0.036 | | + '- | (三菱電機 同等品) |
| | 桁汤岙(エコヤユート) | | | | 未就 (世帝用) | | (二変电馈 问寺品) |
| | | 付属品 リモコンスイッチ(メイン×1、サブ×1), 配管カバー, 循環金具, 架台, | | (制御用) 0.008 | | | |
| | | 他付属品一式共 | | (冬高温) 2.00 | | | |
| | | | | | | | |
| EH-2 | 自然冷媒ヒートポンプ | 形 式 角型 180L | 1-200 | (風呂保温) 0.116 | LDK・UB・洗面室 | 2 | SRT-S182 |
| | 給湯器(エコキュート) | 加 熱 能 力 (冬期高温)4.50 kW | | (凍防ヒーター) 0.036 | 系統 (単身用) | | (三菱電機 同等品) |
| | | 付 属 品 リモコンスイッチ(メイン×1、サブ×1), 配管カバー, 循環金具, 架台, | | (制御用) 0.008 | | | |
| | | 他付属品一式共 | | (冬高温) 1.50 | | | |
| | | | | | | | |
| DT-1 | 汚物中継槽付ユニット | 形 式 汚水用水中ポンプ(フロート付) ×2 | 1-100 | | 屋外 | 1 | ZUJ-506-0.4S, |
| | | φ50×0.15 m3/min×6.0m×100V×0.4kW×2 汚物槽1000L | | | | | TAZS2-100D50 |
| | | 付 属 品 屋外自立型制御盤ECDD3-P-03(ELB他共), 着脱装置, 重荷重蓋, | | | | | (川本製作所 同等品) |
| | | 首部延長、水中ケーブル6m、フロートケーブル10m、他付属品一式共 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

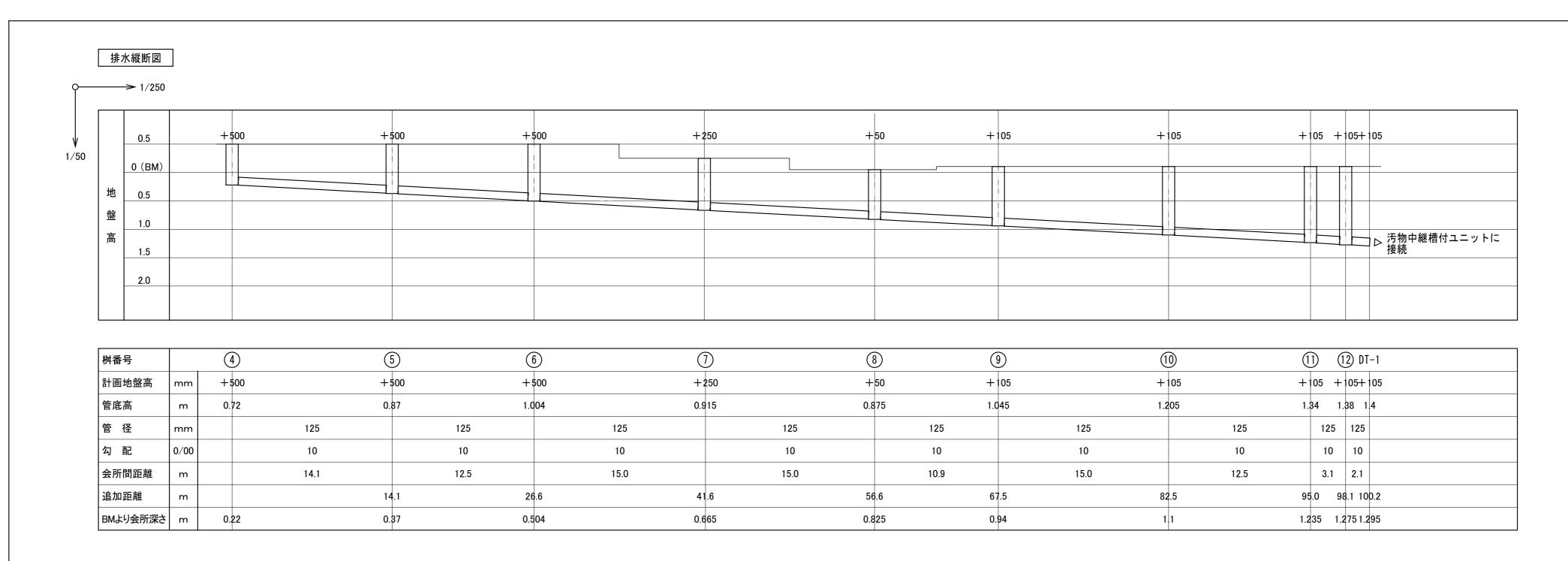
注記事項: 1. 上記品番は参考とし、同等品以上を使用する。

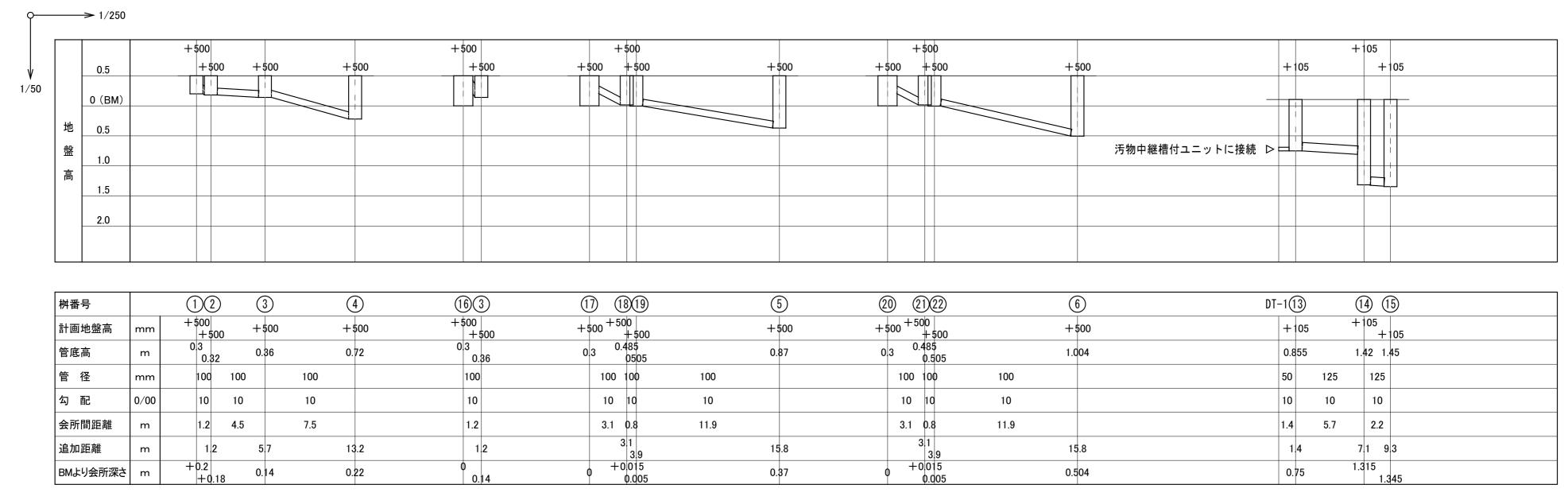
衛生設備器具リスト

| | | | | | | | | 数 | 量 | | | | | |
|----------|--------------|-----------------------------|-----|-----|------------|----|----|-----|-----|---------------|----|----|----|----|
| | | | | 世 | 帯 | 用 | | | 単 | 身 | 用 | | | |
| 器具名称 | | 器 具 付 属 品 | LDK | 洗面室 | ⊗ 0 | UB | 屋外 | LDK | 洗面室 | > 0 | UB | 屋外 | 合計 | 備考 |
| 洋風大便器 | CES9424 | リモコン他付属品共 | | | 1 | | | | | 2 | | | 3 | |
| 手洗器 | ULD11L1BXSNN | INNNA | | | 1 | | | | | 2 | | | 3 | |
| 棚付二連紙巻器 | UGA485A | | | | 1 | | | | | 2 | | | 3 | |
| 洗濯機用水栓 | TW11R | | | 1 | | | | | 2 | | | | 3 | |
| 散水栓 | T28UNH13 | SUS製ボックス共 | | | | | 1 | | | | | 2 | 3 | |
| 水栓柱 | T200SNR13 C | ビニル製水栓柱共 | | | | | 1 | | | | | 2 | 3 | |
| 洗面化粧台 | 建築工事 | 給水・排水接続は設備本工事 | | 1 | | | | | 2 | | | | 3 | |
| システムキッチン | 建築工事 | 排水トラップ共 | 1 | | | | | 2 | | | | | 3 | |
| ユニットバス | 建築工事 | 給水栓(シャワー)共。給水・給湯・排水接続は設備本工事 | | | | 1 | | | | | 2 | | 3 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

注記事項: 1. 参考品番はTOTO製とする。

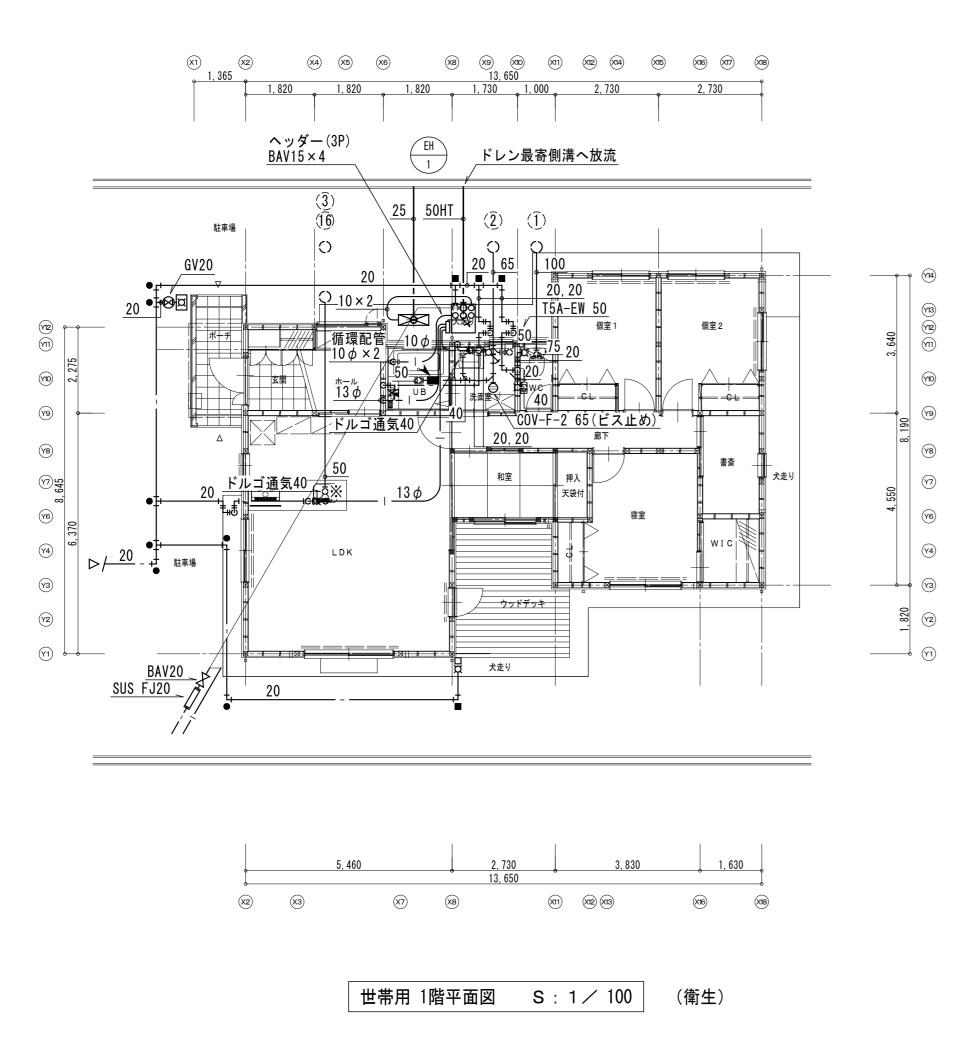
| | 工事名称 | 図面番号 |
|--|----------------------|---------|
| 都市設計 | 京丹波町立医師住宅等新築工事 | M - 0 4 |
| | 図面名称 機器表・器具表 (衛生) | 縮 尺 — |
| 一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治 | 製図 | 日 付 |

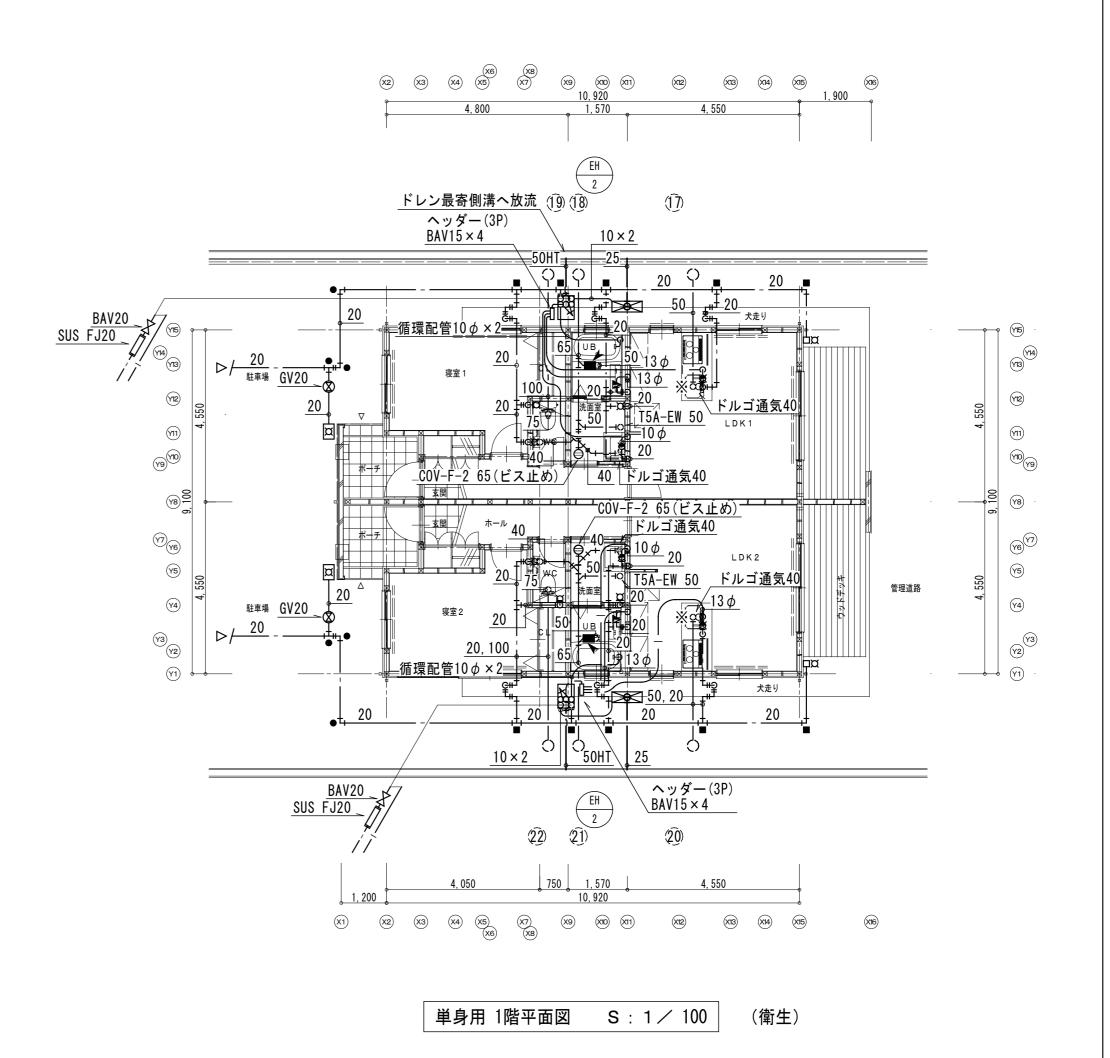




| | 工事名称 | 図面番号 |
|--|--------------------|-----------------------|
| 都市設計 □ | 京丹波町立医師住宅等新築工事 | M - 0 5 |
| | 図面名称 排水縦断図 (衛生) | 縮 尺 1/50, 1/250 |
| 一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登錄第152097号 村林俊治 | 製図 | 日 付 |







水栓、洗濯用水栓 凡例 ¤ 注記事項:1. 図中 UB(建築工事区分)排水取出管にて接続を表す。 混合水栓 2. 図中 ■ は埋設管標示杭を表し、 ● は埋設管標示ピンを表す。 シャワー水栓 3. 図中 ※ は流し排水トラップ50(建築工事区分)に接続を表す。 水栓柱 $\Box \Box$ 4. UBのシャワーはUB付属品とし、接続は本工事とする。 Ø 5. 洗濯機給水栓の取付高さは、打合せの上、最終決定すること。 散水栓 6. 給排水工事は京丹波町指定業者が行うこと。 給水管 7. 特記無き給排水配管は埋設配管とする。 給湯管 8. 特記無き排水配管はVPとする。

雑排水管・汚水管

9. 自然冷媒ヒートポンプ給湯器は犬走りに設置のこと。

| 工事 | 5名称 | 図面番号 |
|--|------------------------------------|---------------|
| 都市設計 | 京丹波町立医師住宅等新築工事 | M - 0 6 |
| 図面 | ^{1名称} 世帯用・単身用 平面図 (衛生) | 縮 尺 1 / 1 0 0 |
| 一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士春器第152097号 村林俊治 | 製図 | 日 付 |

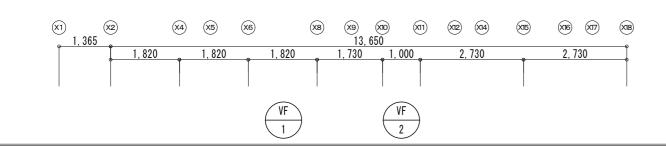
換気設備機器リスト

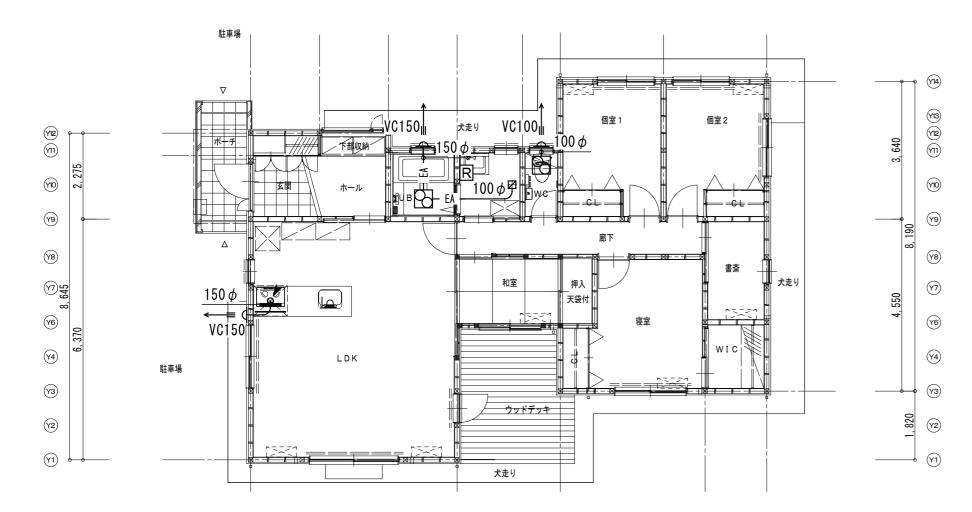
| | 名称 | 機 器 仕 様 | 動力 | | 設置場所 | 台数 | 備考 | |
|------|-----|--|--------------|------|--------------|----------|----|------------|
| 記号 | | | 電源 電源(W) | | | | | |
| VF-1 | 換気扇 | 形 式 浴室換気暖房乾燥機 2部屋用タイプ | φ-V 1-100 | 定格出力 | 消費電力 1.25 | UB (世帯用) | 1 | V-142BZ |
| VF-1 | 授风网 | 100 φ × 160CMH×80Pa | 1-100 | | 1.25 | 06 (世帝州) | ' | (三菱電機 同等品) |
| | | foliage | | | | | | (二変电版 问守吅/ |
| | | 防振吊金具、他付属品一式共 | | | | | | |
| | | 1772 - XX 1517 - | | | | | | |
| VF-2 | | 形 式 天井埋込形ダクト用 低騒音形 | 1-100 | | 0.009 | WC(世帯用) | 1 | VD-10ZC10 |
| | | 100 φ × 10CMH × 80Pa | | | | | | (三菱電機 同等品) |
| | | 付属品 SUS製深型フード 100 φ, 防振吊金具, 他付属品一式共 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| VF-3 | 換気扇 | 形 式 浴室換気暖房乾燥機 2部屋用タイプ | 1-100 | | 1.25 | UB (単身用) | 2 | V-142BZ |
| | | 100 | | | | | | (三菱電機 同等品) |
| | | 付属品 SUS製深型フード 150 Ø, 24時間換気スイッチ, | | | | | | |
| | | 防振吊金具,他付属品一式共 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| VF-4 | 換気扇 | 形 式 天井埋込形ダクト用 低騒音形 | 1-100 | | 0.009 | WC(単身用) | 2 | VD-10ZC10 |
| | | 100 φ × 10CMH × 80Pa | | | | | | (三菱電機 同等品) |
| | | 付属品 SUS製深型フード 100 φ, 防振吊金具, 他付属品一式共 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 1 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

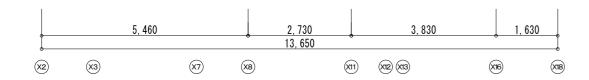
注記事項: 1. 上記品番は参考とし、同等品以上を使用する。

| | 工事名称 | 図面番号 |
|--|----------------|---------|
| 都 市 設 計 □ | 京丹波町立医師住宅等新築工事 | M - 0 7 |
| | 図面名称 機器表 (換気) | 縮 尺 — |
| 一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治 | 製図 | 日 付 |

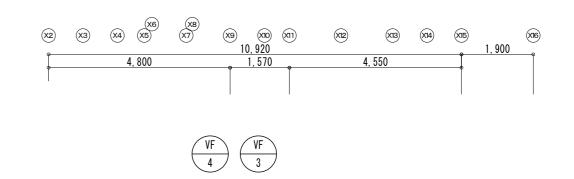


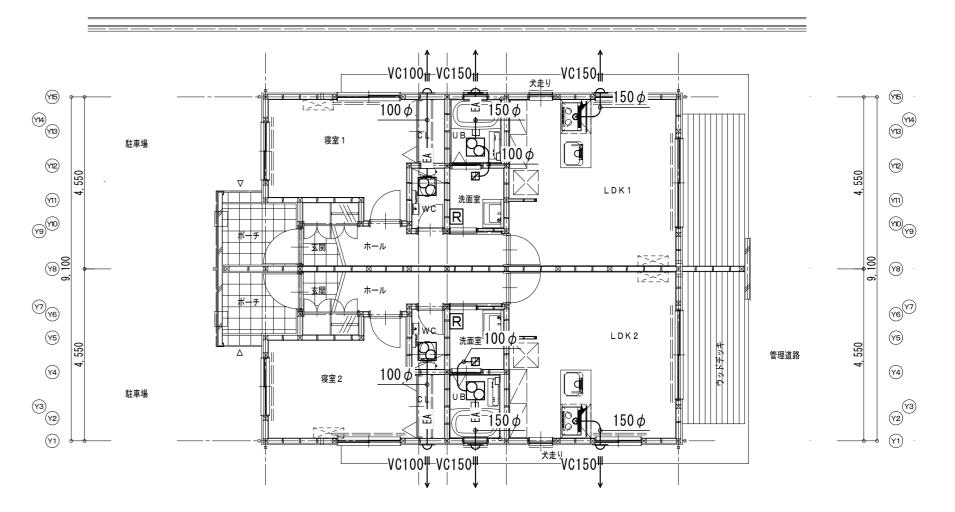


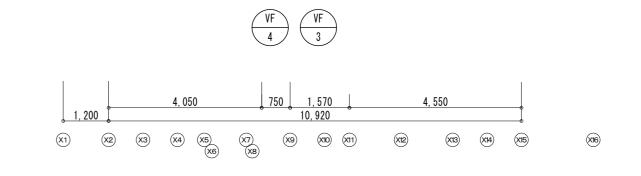




世帯用 1階平面図 S: 1 / 100 (換気)







単身用 1階平面図 S:1/100 (換気)

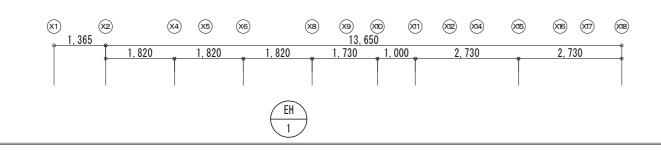
 注記事項:1. 図中 R はリモコンスイッチ(24時間換気スイッチ付)を表す。

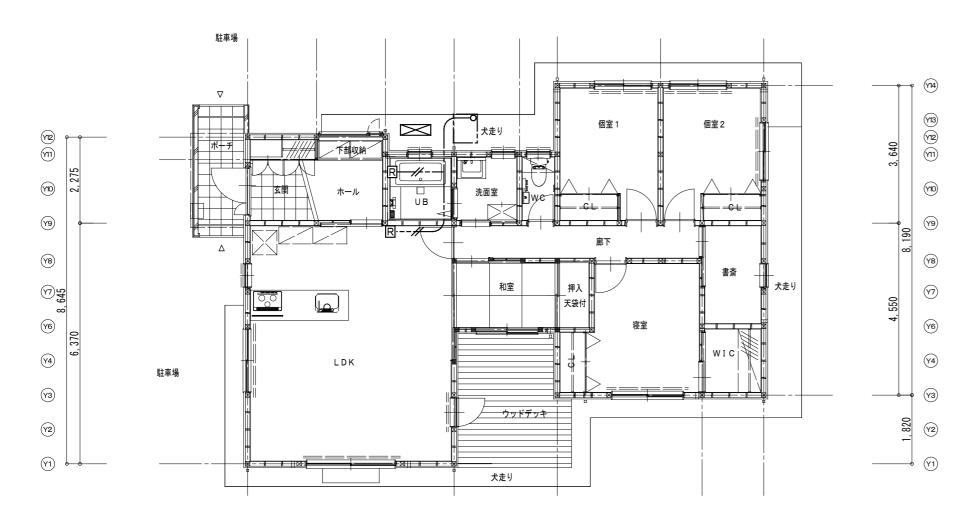
2. 図中 はレンジフード(建築工事区分)に接続を表す。

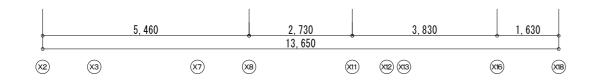
3. 給気は窓枠の換気かまちによる。

| 都市設計 🗔 | _{工事名称} 京丹波町立医師住宅等新築工事 | 図面番号 M - 0 8 |
|--|-----------------------------------|-----------------|
| | 図面名称 世帯用・単身用 平面図 (換気) | 縮 尺 1 / 1 0 0 |
| 一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士各錄第152097号 対林俊治 | 製図 | 日 付 |

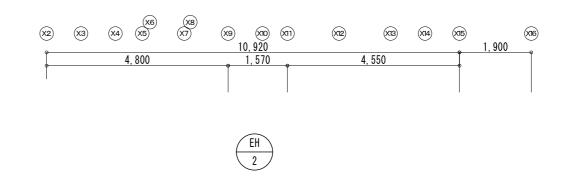


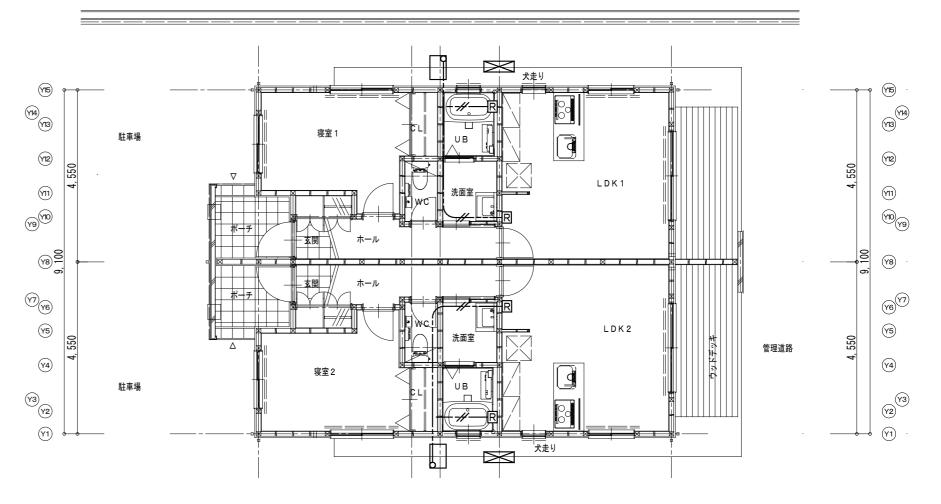


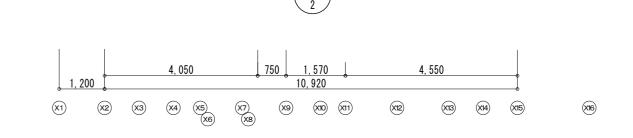




世帯用 1階平面図 S:1/100 (リモコン)







単身用 1階平面図 S:1/100 (リモコン)

注記事項:1. 図中 R は給湯器用リモコンスイッチを表す。

- 3. リモコン設置位置は打合せの上、最終決定すること。

| | 工事名称 | 図面番号 |
|---|----------------------------|---------------|
| 都市設計 | 京丹波町立医師住宅等新築工事 | M — 0 9 |
| | 図面名称 世帯用・単身用 平面図 (リモコン) | 縮 尺 1 / 1 0 0 |
| 一級建築士事務所登録 (29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治 | 製図 | 日 付 |